

VIII 観光動態調査ルート分析

1 概要

●はじめに

この報告書は、平成 23 年に行われた観光統計調査のデータを基に、旅行者が立ち寄った地域の割合を発地別、年齢別、旅行形態別、旅行目的別に作成し、それらを参考にして旅行者の周遊ルートをブロック別（中部、東部、西部）に分析したものである。

調査地

- 中部（桂浜、高知城、土佐和紙工芸村、黒潮本陣）
- 東部（室戸岬、龍河洞、モネの庭、アンパンマンミュージアム）
- 西部（足摺岬、四万十川観光遊覧船乗場）

● 集計方法について

- ・ 立寄市町村割合では、調査時に旅行者から回答のあった「訪問した（する予定の）観光地のすべてを、市町村地域別に集計している。
- ・ すべての割合データ（%表記）は、小数点以下2位で四捨五入した数値を使用している。そのため、合計が100%にならない場合がある。
- ・ なお、平成23年は「観光入込客統計に関する共通基準（観光庁）」に基づく観光地点のみを集計対象としているため、立寄り件数の総計は9,400件と前年より減少している。
 - ※観光入込客統計に関する共通基準に基づく調査地点
 - 1.非日常利用が多いと判断される地点であること。
 - 2.観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
 - 3.前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。
- ・ 立寄市町村の16地域は以下の通り。

01 東洋・室戸	:	東洋町、室戸市
02 奈半利・田野等	:	奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村
03 安芸・芸西	:	安芸市、芸西村
04 香南	:	香南市
05 南国・香美	:	南国市、香美市
06 本山・大豊等	:	本山町、大豊町、土佐町、大川村
07 高知	:	高知市
08 いの	:	いの町
09 土佐・日高	:	土佐市、日高村
10 佐川・越知	:	佐川町、越知町、仁淀川町
11 須崎・中土佐	:	須崎市、中土佐町
12 梶原・津野	:	梶原町、津野町
13 四万十町	:	四万十町
14 黒潮・四万十市	:	黒潮町、四万十市
15 宿毛・三原	:	宿毛市、三原村
16 土佐清水・大月	:	土佐清水市、大月町

● 平成 23 年観光動態調査立寄市町村割合の傾向、および特徴

立寄市町村の延べ件数は、前年度の 12,815 件から今年度は 9,400 件と大幅に減少しているが、先に述べたとおり集計対象を変更しているため、単純な比較はできない。

県内 16 地域の立寄数をみると、最も多かったのは「高知」の 3,791 件（40.3%）で、高知県観光の中心になっている。次いで、「南国・香美」の 1,171 件（12.5%）、「土佐清水・大月」の 843 件（9.0%）、「東洋・室戸」の 741 件（7.9%）、「黒潮・四万十市」の 729 件（7.8%）と続く。この上位 5 地域で全体の 77.5%と大半を占める結果となっている。

発地ブロック別でみると、すべてのブロックで「高知」への立寄割合が最も多くなっているが、2 番目に多い地域は“近畿”や“中国”、“四国”などが「南国・香美」、「関東」と“九州・沖縄”が「黒潮・四万十市」、「甲信・東海」などは「土佐清水・大月」と傾向が分かれている。

年代別の傾向として、10 代は最も「高知」への集中度が高く、20 代から 40 代は「高知」と「南国・香美」での立寄りが多くなっている。特に 30 代は「南国・香美」への集中度が目立って高くなっている。50 代と 60 代以上は「高知」への集中度が低くなる一方で、「土佐清水・大月」や「東洋・室戸」が多くなっている。

旅行形態別の傾向として、家族旅行は「高知」以外では「南国・香美」での立寄りが目立つ一方で、「東洋・室戸」は少ない。友人・知人との旅行は「高知」、「奈半利・田野等」、「須崎・中土佐」などが全体平均を上回り、団体旅行の立寄りは「高知」に集中し、「黒潮・四万十市」も多くなっている。また、団体旅行は立寄市町村に限られているという特徴がみられる。一人旅では、他の旅行形態に比べて「高知」が少なく、「東洋・室戸」と「土佐清水・大月」の多さが目立つという特徴が見られる。

主な旅行目的別の傾向としては、“名所旧跡”と“祭り”は「高知」と「南国・香美」を合計した割合が 6 割を超えており、この 2 地域に目立って集中している。“自然見物”や“なんとなく”は「高知」の割合が若干少なく、「土佐清水・大月」や「東洋・室戸」とその周辺地域が多くなっている。その傾向がさらに強まっているのが“神仏霊場”で、「高知」の割合が旅行目的別で最も少なくなっている。“休養”と“食べ物”は「高知」に次いで「須崎・中土佐」が多く、“アウトドア”は「高知」と「土佐清水・大月」、「黒潮・四万十市」の 3 地域がそれぞれ約 4 分の 1 の割合、“買い物”は「いの」が旅行目的別で最も多いという結果となっている。

2-1 発地別立寄市町村

発地別立寄市町村(件) [発地ブロック別]

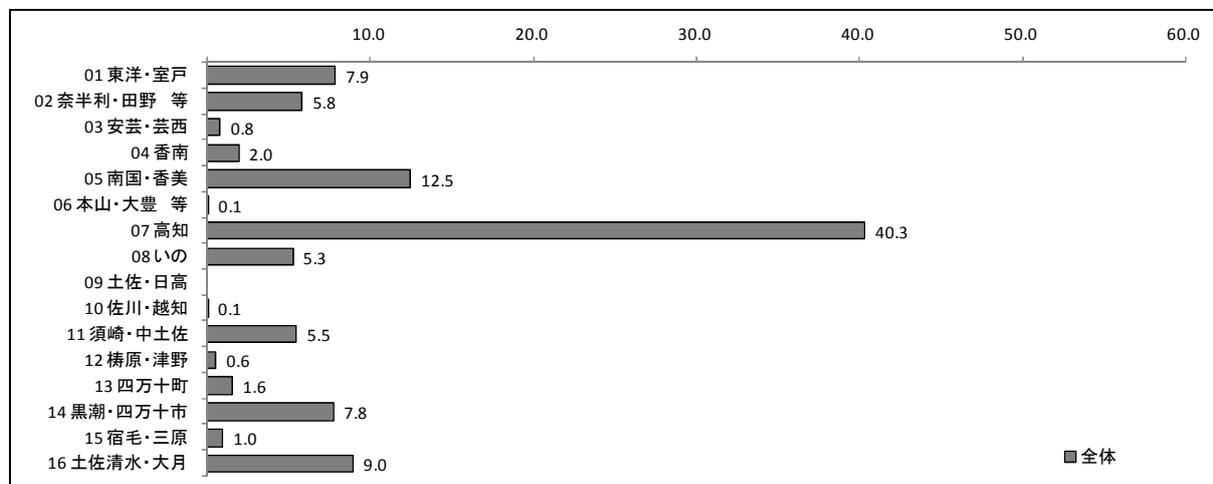
	北海道・東北 (n=41)	関東 (n=395)	北陸・新潟 (n=27)	甲信・東海 (n=157)	近畿 (n=762)	中国 (n=423)	四国 (n=2,066)	九州・沖縄 (n=124)	海外 (n=5)	全体 (n=4,000)
01 東洋・室戸	7	103	11	36	154	86	311	33		741
02 奈半利・田野 等	3	18	3	9	65	37	407	6	1	549
03 安芸・芸西	2	10	3	6	19	10	20	6		76
04 香南	4	12	2	5	23	22	113	3		184
05 南国・香美	20	87	8	36	246	146	602	26		1,171
06 本山・大豊 等					1	1	5			7
07 高知	80	721	47	278	1,066	558	811	221	9	3,791
08 いの	4	22	1	4	31	24	401	6	1	494
09 土佐・日高										
10 佐川・越知	1	1			2		1			5
11 須崎・中土佐	3	29	2	9	73	39	360	3		518
12 梶原・津野	2	13		4	12	4	15	2		52
13 四万十町	1	12		6	31	17	77	3		147
14 黒潮・四万十市	10	123	8	37	193	91	221	46		729
15 宿毛・三原	1	8		5	24	13	39	3		93
16 土佐清水・大月	6	114	6	53	242	110	277	34	1	843
合計 (件)	144	1,273	91	488	2,182	1,158	3,660	392	12	9,400
割合 (%)	1.5	13.5	1.0	5.2	23.2	12.3	38.9	4.2	0.1	100.0
平均立寄数 (件)	3.5	3.2	3.4	3.1	2.9	2.7	1.8	3.2	2.4	2.4

発地別立寄市町村割合 (%) [発地ブロック別]

	北海道・東北	関東	北陸・新潟	甲信・東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	海外	全体
01 東洋・室戸	4.9	8.1	12.1	7.4	7.1	7.4	8.5	8.4		7.9
02 奈半利・田野 等	2.1	1.4	3.3	1.8	3.0	3.2	11.1	1.5	8.3	5.8
03 安芸・芸西	1.4	0.8	3.3	1.2	0.9	0.9	0.6	1.5		0.8
04 香南	2.8	0.9	2.2	1.0	1.1	1.9	3.1	0.8		2.0
05 南国・香美	13.9	6.8	8.8	7.4	11.3	12.6	16.5	6.6		12.5
06 本山・大豊 等					0.1	0.1	0.1			0.1
07 高知	55.6	56.6	51.7	57.0	48.9	48.2	22.2	56.4	75.0	40.3
08 いの	2.8	1.7	1.1	0.8	1.4	2.1	11.0	1.5	8.3	5.3
09 土佐・日高										
10 佐川・越知	0.7	0.1			0.1		0.0			0.1
11 須崎・中土佐	2.1	2.3	2.2	1.8	3.4	3.4	9.8	0.8		5.5
12 梶原・津野	1.4	1.0		0.8	0.6	0.4	0.4	0.5		0.6
13 四万十町	0.7	0.9		1.2	1.4	1.5	2.1	0.8		1.6
14 黒潮・四万十市	6.9	9.7	8.8	7.6	8.9	7.9	6.0	11.7		7.8
15 宿毛・三原	0.7	0.6		1.0	1.1	1.1	1.1	0.8		1.0
16 土佐清水・大月	4.2	9.0	6.6	10.9	11.1	9.5	7.6	8.7	8.3	9.0

※ **白抜き** は発地・ブロックで1位、**太字** は同2位

立寄市町村割合 (%)



・立寄観光地の延べ件数

回答のあった旅行者が立寄った観光地は延べ 9,400 ヶ所だった。その内訳を発地ブロック別にみると、四国が延べ 3,660 ヶ所 (38.9%) と最も多く、次いで近畿が 2,182 ヶ所 (23.2%)、関東が 1,273 ヶ所 (13.5%)、中国が 1,158 ヶ所 (12.3%) となっている。

・上位を占めた立寄観光地の市町村

回答のあった旅行者が立寄った観光地を市町村別でみると、全体では「高知」が 3,791 件 (40.3%) と最も多く、次いで「南国・香美」の 1,171 件 (12.5%)、「土佐清水・大月」の 843 件 (9.0%)、「東洋・室戸」の 741 件 (7.9%)、「黒潮・四万十市」の 729 件 (7.8%) となっている。

・発地ブロックごとの立寄市町村の傾向

立寄市町村を発地ブロック別でみると、すべてのブロックで「高知」への立寄り件数が最も多くなっている。2番目に立ち寄りが多かった市町村は、“北海道・東北”、“近畿”、“中国”、“四国”が「南国・香美」、「関東”、“九州・沖縄”が「黒潮・四万十市」、「北陸・新潟”が「東洋・室戸」、「甲信・東海”が「土佐清水・大月」と発地ブロックにより傾向が分かれた。

なお、県内旅行者は「奈半利・田野等」、「南国・香美」、「いの」、「須崎・中土佐」の順で割合が多くなっているが、これは調査地点の影響を受けたものと考えられる。

なお、海外旅行者は年間で5組とサンプル数が少ないため、発地ブロックでの分析は行っていない。

(参考1) 発地別立寄市町村(件) [北海道・東北]

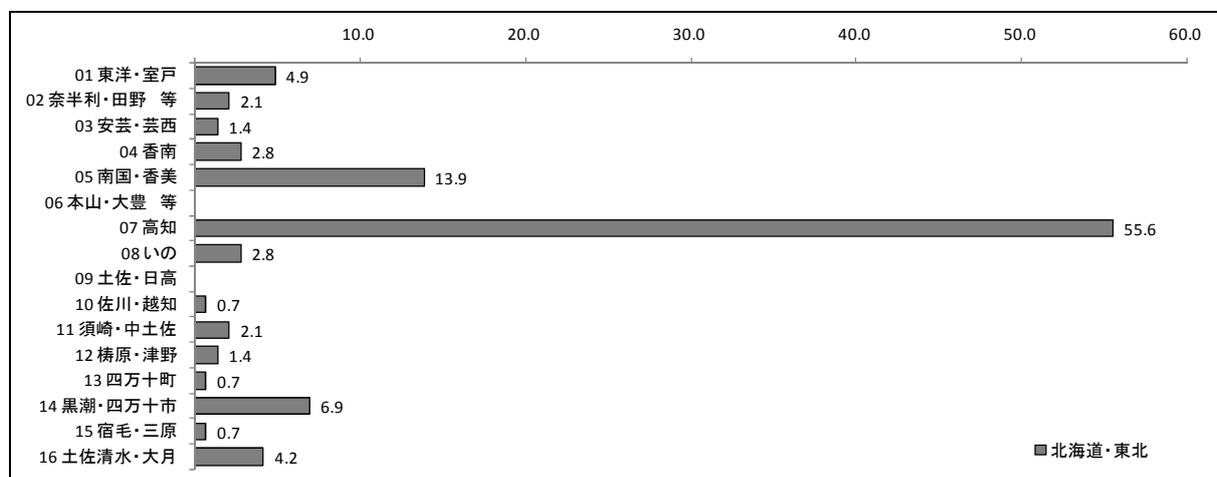
	北海道 (n=20)	青森県 (n=0)	岩手県 (n=5)	宮城県 (n=7)	秋田県 (n=2)	山形県 (n=3)	福島県 (n=4)	北海道・東北 (n=41)
01 東洋・室戸	3		2	1	1			7
02 奈半利・田野 等	3							3
03 安芸・芸西	1		1					2
04 香南	2		1	1				4
05 南国・香美	9		2	5	1	2	1	20
06 本山・大豊 等								
07 高知	49		11	12		4	4	80
08 いの	2		1	1				4
09 土佐・日高								
10 佐川・越知				1				1
11 須崎・中土佐	1				1	1		3
12 梶原・津野				1		1		2
13 四万十町				1				1
14 黒潮・四万十市	5			2		1	2	10
15 宿毛・三原				1				1
16 土佐清水・大月	2		1	3				6
合計 (件)	77		19	29	3	9	7	144
割合 (%)	53.5	0.0	13.2	20.1	2.1	6.3	4.9	100.0
平均立寄数 (件)	3.9	-	3.8	4.1	1.5	3.0	1.8	3.5

(参考2) 発地別立寄市町村割合 (%) [北海道・東北]

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	北海道・東北
01 東洋・室戸	3.9		10.5	3.5	33.3			4.9
02 奈半利・田野 等	3.9							2.1
03 安芸・芸西	1.3		5.3					1.4
04 香南	2.6		5.3	3.5				2.8
05 南国・香美	11.7		10.5	17.2	33.3	22.2	14.3	13.9
06 本山・大豊 等								
07 高知	63.6		57.9	41.4		44.4	57.1	55.6
08 いの	2.6		5.3	3.5				2.8
09 土佐・日高								
10 佐川・越知				3.5				0.7
11 須崎・中土佐	1.3				33.3	11.1		2.1
12 梶原・津野				3.5		11.1		1.4
13 四万十町				3.5				0.7
14 黒潮・四万十市	6.5			6.9		11.1	28.6	6.9
15 宿毛・三原				3.5				0.7
16 土佐清水・大月	2.6		5.3	10.3				4.2

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(参考3) 発地別立寄市町村割合 (%) [北海道・東北]



(参考4) 発地別立寄り市町村 (件) [関東]

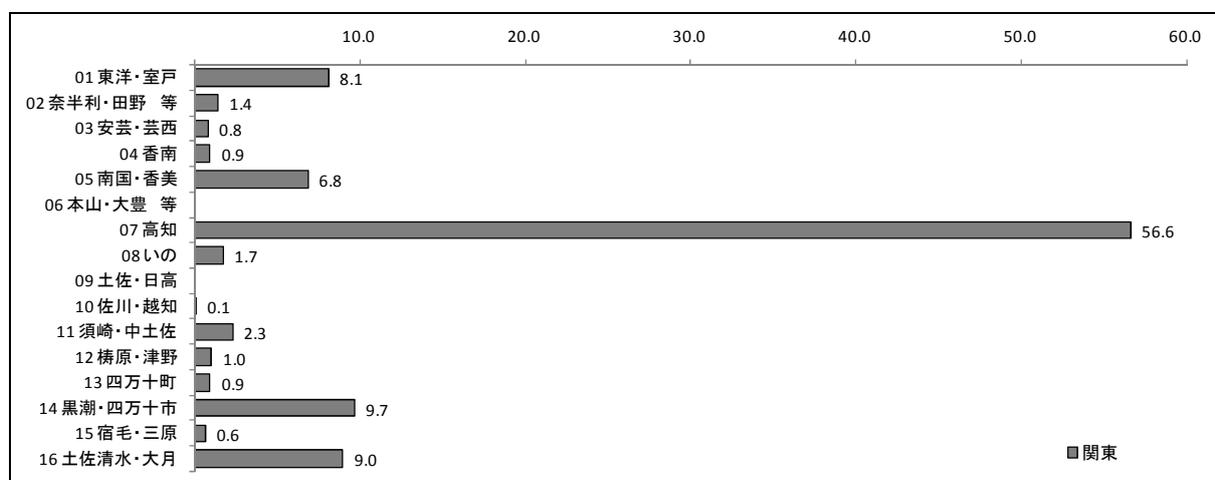
	茨城県 (n=16)	栃木県 (n=6)	群馬県 (n=11)	埼玉県 (n=62)	千葉県 (n=34)	東京都 (n=170)	神奈川県 (n=96)	関東 (n=395)
01 東洋・室戸	6		4	18	11	34	30	103
02 奈半利・田野 等				2		12	4	18
03 安芸・芸西		1		2		5	2	10
04 香南	1			3	1	4	3	12
05 南国・香美	2	1	4	12	5	32	31	87
06 本山・大豊 等								
07 高知	20	18	20	117	64	312	170	721
08 いの				4	2	13	3	22
09 土佐・日高								
10 佐川・越知						1		1
11 須崎・中土佐	1			2	2	18	6	29
12 梶原・津野			1	5		3	4	13
13 四万十町				3		3	6	12
14 黒潮・四万十市	7	2	4	22	16	44	28	123
15 宿毛・三原				2		4	2	8
16 土佐清水・大月	5	1	5	20	12	40	31	114
合計 (件)	42	23	38	212	113	525	320	1,273
割合 (%)	3.3	1.8	3.0	16.7	8.9	41.2	25.1	100.0
平均立寄数 (件)	2.6	3.8	3.5	3.4	3.3	3.1	3.3	3.2

(参考5) 発地別立寄り市町村割合 (%) [関東]

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	関東
01 東洋・室戸	14.3		10.5	8.5	9.7	6.5	9.4	8.1
02 奈半利・田野 等				0.9		2.3	1.3	1.4
03 安芸・芸西		4.4		0.9		1.0	0.6	0.8
04 香南	2.4			1.4	0.9	0.8	0.9	0.9
05 南国・香美	4.8	4.4	10.5	5.7	4.4	6.1	9.7	6.8
06 本山・大豊 等								
07 高知	47.6	78.3	52.6	55.2	56.6	59.4	53.1	56.6
08 いの				1.9	1.8	2.5	0.9	1.7
09 土佐・日高								
10 佐川・越知						0.2		0.1
11 須崎・中土佐	2.4			0.9	1.8	3.4	1.9	2.3
12 梶原・津野			2.6	2.4		0.6	1.3	1.0
13 四万十町				1.4		0.6	1.9	0.9
14 黒潮・四万十市	16.7	8.7	10.5	10.4	14.2	8.4	8.8	9.7
15 宿毛・三原				0.9		0.8	0.6	0.6
16 土佐清水・大月	11.9	4.4	13.2	9.4	10.6	7.6	9.7	9.0

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(参考6) 発地別立寄り市町村割合 (%) [関東]



(参考7) 発地別立寄市町村 (件) [北陸・新潟]

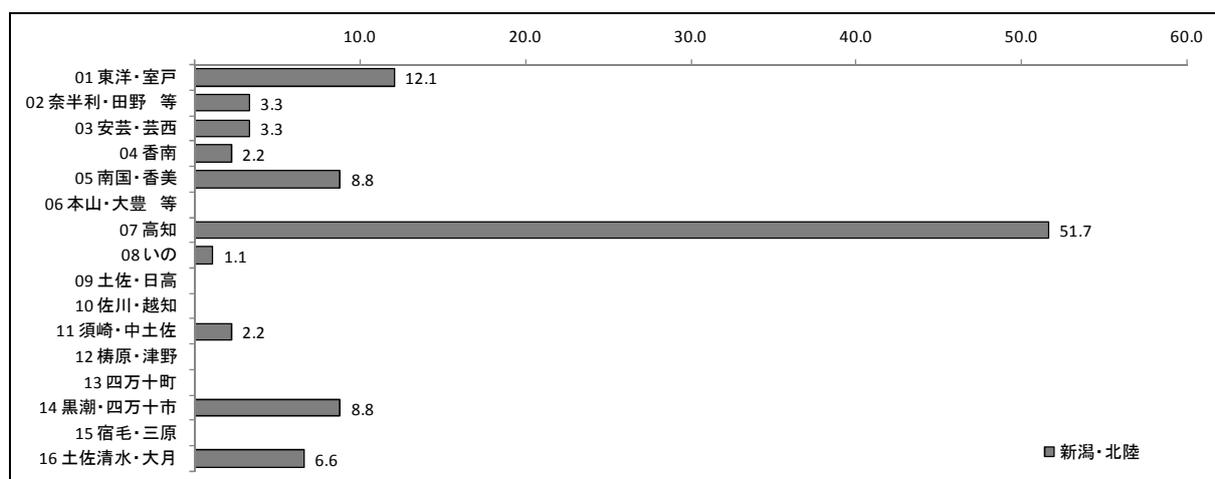
	新潟県 (n=6)	富山県 (n=4)	石川県 (n=10)	福井県 (n=7)	北陸・新潟 (n=27)
01 東洋・室戸	2		6	3	11
02 奈半利・田野 等	1		2		3
03 安芸・芸西	1		2		3
04 香南			2		2
05 南国・香美	1	1	3	3	8
06 本山・大豊 等					
07 高知	12	8	16	11	47
08 いの	1				1
09 土佐・日高					
10 佐川・越知					
11 須崎・中土佐				2	2
12 橋原・津野					
13 四万十町					
14 黒潮・四万十市		1	4	3	8
15 宿毛・三原					
16 土佐清水・大月	2		1	3	6
合計 (件)	20	10	36	25	91
割合 (%)	22.0	11.0	39.6	27.5	100.0
平均立寄数 (件)	3.3	2.5	3.6	3.6	3.4

(参考8) 発地別立寄市町村割合 (%) [北陸・新潟]

	新潟県	富山県	石川県	福井県	新潟・北陸
01 東洋・室戸	10.0		16.7	12.0	12.1
02 奈半利・田野 等	5.0		5.6		3.3
03 安芸・芸西	5.0		5.6		3.3
04 香南			5.6		2.2
05 南国・香美	5.0	10.0	8.3	12.0	8.8
06 本山・大豊 等					
07 高知	60.0	80.0	44.4	44.0	51.7
08 いの	5.0				1.1
09 土佐・日高					
10 佐川・越知					
11 須崎・中土佐				8.0	2.2
12 橋原・津野					
13 四万十町					
14 黒潮・四万十市		10.0	11.1	12.0	8.8
15 宿毛・三原					
16 土佐清水・大月	10.0		2.8	12.0	6.6

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(参考9) 発地別立寄市町村割合 (%) [新潟・北陸]



(参考10) 発地別立寄市町村 (件) [甲信・東海]

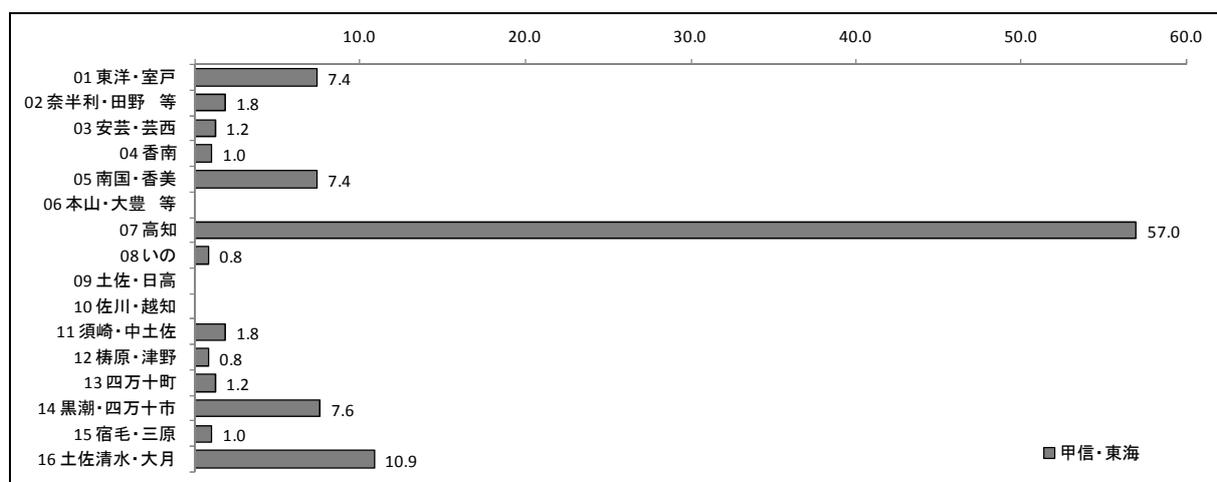
	山梨県 (n=1)	長野県 (n=12)	岐阜県 (n=19)	静岡県 (n=23)	愛知県 (n=102)	甲信・東海 (n=157)
01 東洋・室戸		1	3	6	26	36
02 奈半利・田野 等		1	1	3	4	9
03 安芸・芸西	1	1		1	3	6
04 香南		1			4	5
05 南国・香美		2	4	9	21	36
06 本山・大豊 等						
07 高知	2	23	35	37	181	278
08 いの			2		2	4
09 土佐・日高						
10 佐川・越知						
11 須崎・中土佐			1	2	6	9
12 橋原・津野	1				3	4
13 四万十町				1	5	6
14 黒潮・四万十市	1	2	2	7	25	37
15 宿毛・三原				1	4	5
16 土佐清水・大月		4	3	8	38	53
合計 (件)	5	35	51	75	322	488
割合 (%)	1.0	7.2	10.5	15.4	66.0	100.0
平均立寄数 (件)	5.0	2.9	2.7	3.3	3.2	3.1

(参考11) 発地別立寄市町村割合 (%) [甲信・東海]

	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	甲信・東海
01 東洋・室戸		2.9	5.9	8.0	8.1	7.4
02 奈半利・田野 等		2.9	2.0	4.0	1.2	1.8
03 安芸・芸西	20.0	2.9		1.3	0.9	1.2
04 香南		2.9			1.2	1.0
05 南国・香美		5.7	7.8	12.0	6.5	7.4
06 本山・大豊 等						
07 高知	40.0	65.7	68.6	49.3	56.2	57.0
08 いの			3.9		0.6	0.8
09 土佐・日高						
10 佐川・越知						
11 須崎・中土佐			2.0	2.7	1.9	1.8
12 橋原・津野	20.0				0.9	0.8
13 四万十町				1.3	1.6	1.2
14 黒潮・四万十市	20.0	5.7	3.9	9.3	7.8	7.6
15 宿毛・三原				1.3	1.2	1.0
16 土佐清水・大月		11.4	5.9	10.7	11.8	10.9

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(参考12) 発地別立寄市町村割合 (%) [甲信・東海]



(参考 13) 発地別立寄市町村 (件) [近畿]

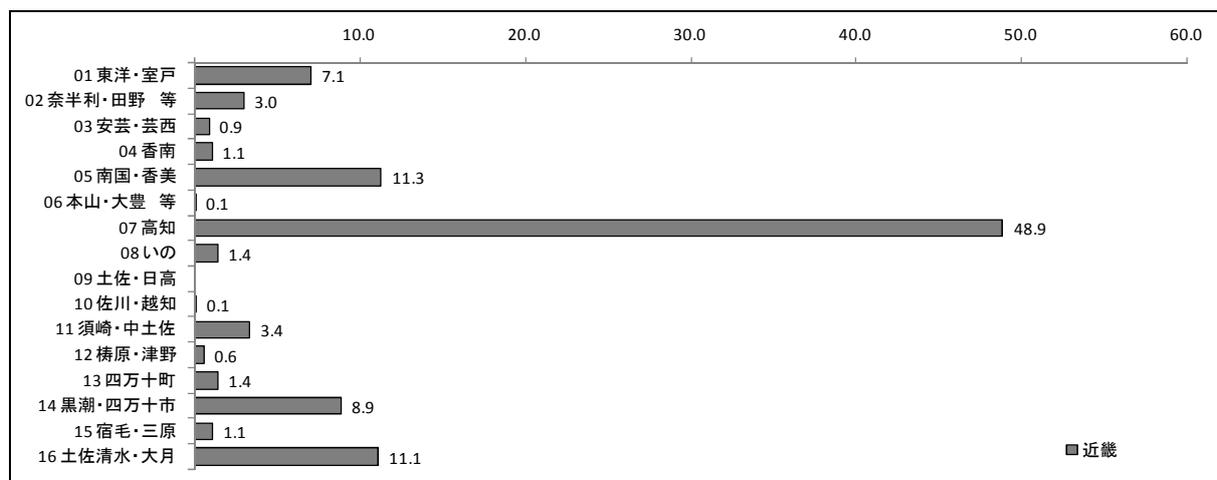
	三重県 (n=25)	滋賀県 (n=27)	京都府 (n=64)	大阪府 (n=302)	兵庫県 (n=277)	奈良県 (n=45)	和歌山県 (n=22)	近畿 (n=762)
01 東洋・室戸		7	14	68	54	8	3	154
02 奈半利・田野 等	2	2	4	30	20	5	2	65
03 安芸・芸西		2	2	7	7	1		19
04 香南			3	10	8		2	23
05 南国・香美	12	5	18	93	95	17	6	246
06 本山・大豊 等		1						1
07 高知	43	46	102	401	350	95	29	1,066
08 いの	1		2	11	17			31
09 土佐・日高								
10 佐川・越知					2			2
11 須崎・中土佐	3	4	3	30	30	2	1	73
12 梶原・津野			2	4	6			12
13 四万十町	2	1	6	10	9	2	1	31
14 黒潮・四万十市	6	3	13	81	78	8	4	193
15 宿毛・三原	1	2	3	9	6	2	1	24
16 土佐清水・大月	6	7	23	96	92	11	7	242
合計 (件)	76	80	195	850	774	151	56	2,182
割合 (%)	3.5	3.7	8.9	39.0	35.5	6.9	2.6	100.0
平均立寄数 (件)	3.0	3.0	3.0	2.8	2.8	3.4	2.5	2.9

(参考 14) 発地別立寄市町村割合 (%) [近畿]

	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	近畿
01 東洋・室戸		8.8	7.2	8.0	7.0	5.3	5.4	7.1
02 奈半利・田野 等	2.6	2.5	2.1	3.5	2.6	3.3	3.6	3.0
03 安芸・芸西		2.5	1.0	0.8	0.9	0.7		0.9
04 香南			1.5	1.2	1.0		3.6	1.1
05 南国・香美	15.8	6.3	9.2	10.9	12.3	11.3	10.7	11.3
06 本山・大豊 等		1.3						0.1
07 高知	56.6	57.5	52.3	47.2	45.2	62.9	51.8	48.9
08 いの	1.3		1.0	1.3	2.2			1.4
09 土佐・日高								
10 佐川・越知					0.3			0.1
11 須崎・中土佐	4.0	5.0	1.5	3.5	3.9	1.3	1.8	3.4
12 梶原・津野			1.0	0.5	0.8			0.6
13 四万十町	2.6	1.3	3.1	1.2	1.2	1.3	1.8	1.4
14 黒潮・四万十市	7.9	3.8	6.7	9.5	10.1	5.3	7.1	8.9
15 宿毛・三原	1.3	2.5	1.5	1.1	0.8	1.3	1.8	1.1
16 土佐清水・大月	7.9	8.8	11.8	11.3	11.9	7.3	12.5	11.1

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(参考 15) 発地別立寄市町村割合 (%) [近畿]



(参考 16) 発地別立寄市町村 (件) [中国]

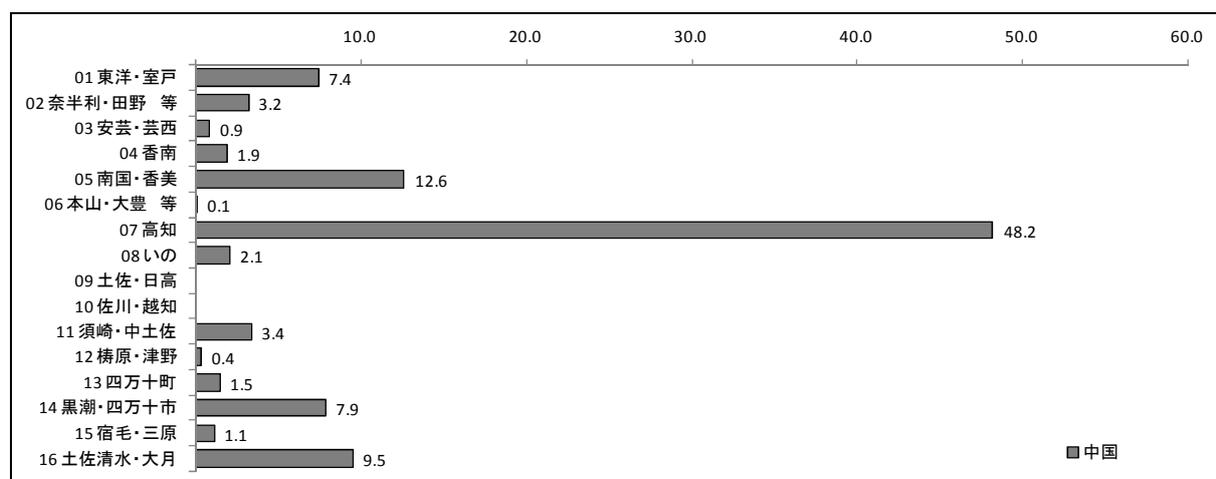
	鳥取県 (n=19)	島根県 (n=12)	岡山県 (n=193)	広島県 (n=162)	山口県 (n=37)	中国 (n=423)
01 東洋・室戸	2	2	44	27	11	86
02 奈半利・田野 等	5		21	11		37
03 安芸・芸西	1		5	2	2	10
04 香南	1		13	7	1	22
05 南国・香美	9	5	77	44	11	146
06 本山・大豊 等			1			1
07 高知	34	16	205	241	62	558
08 いの			6	16	2	24
09 土佐・日高						
10 佐川・越知						
11 須崎・中土佐	2		24	12	1	39
12 橋原・津野	1		3			4
13 四万十町		2	8	5	2	17
14 黒潮・四万十市	2	2	37	41	9	91
15 宿毛・三原			7	4	2	13
16 土佐清水・大月	5	1	45	46	13	110
合計 (件)	62	28	496	456	116	1,158
割合 (%)	5.4	2.4	42.8	39.4	10.0	100.0
平均立寄数 (件)	3.3	2.3	2.6	2.8	3.1	2.7

(参考 17) 発地別立寄市町村割合 (%) [中国]

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	中国
01 東洋・室戸	3.2	7.1	8.9	5.9	9.5	7.4
02 奈半利・田野 等	8.1		4.2	2.4		3.2
03 安芸・芸西	1.6		1.0	0.4	1.7	0.9
04 香南	1.6		2.6	1.5	0.9	1.9
05 南国・香美	14.5	17.9	15.5	9.7	9.5	12.6
06 本山・大豊 等			0.2			0.1
07 高知	54.8	57.1	41.3	52.9	53.5	48.2
08 いの			1.2	3.5	1.7	2.1
09 土佐・日高						
10 佐川・越知						
11 須崎・中土佐	3.2		4.8	2.6	0.9	3.4
12 橋原・津野	1.6		0.6			0.4
13 四万十町		7.1	1.6	1.1	1.7	1.5
14 黒潮・四万十市	3.2	7.1	7.5	9.0	7.8	7.9
15 宿毛・三原			1.4	0.9	1.7	1.1
16 土佐清水・大月	8.1	3.6	9.1	10.1	11.2	9.5

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(参考 18) 発地別立寄市町村割合 (%) [中国]



(参考 19) 発地別立寄市町村 (件) [四国]

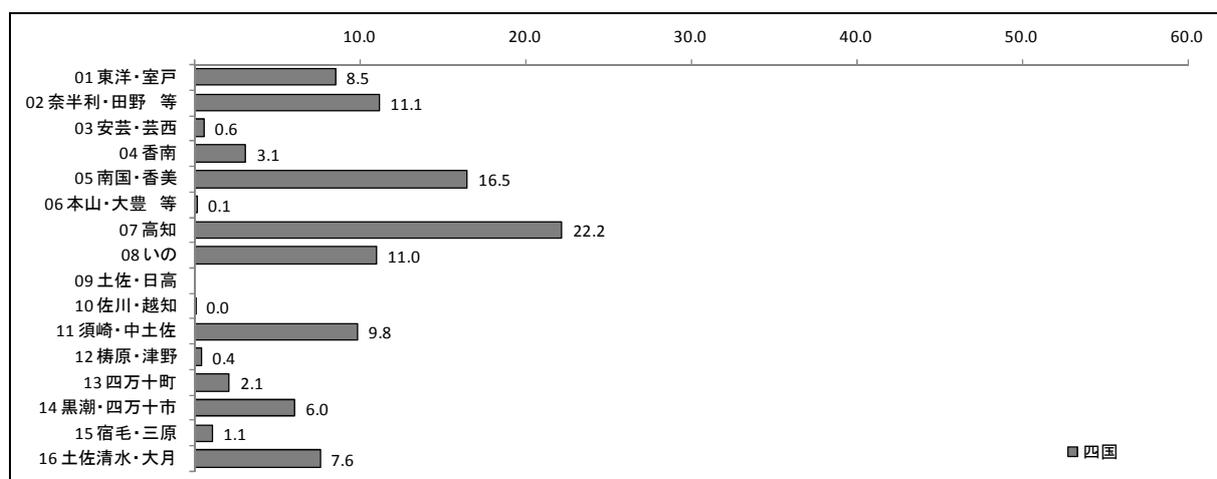
	徳島県 (n=192)	香川県 (n=321)	愛媛県 (n=482)	高知県 (n=1,071)	四国 (n=2,066)
01 東洋・室戸	71	51	61	128	311
02 奈半利・田野 等	38	45	66	258	407
03 安芸・芸西	3	1	10	6	20
04 香南	11	34	29	39	113
05 南国・香美	88	142	132	240	602
06 本山・大豊 等		2	2	1	5
07 高知	139	223	312	137	811
08 いの	5	27	139	230	401
09 土佐・日高					
10 佐川・越知			1		1
11 須崎・中土佐	17	58	83	202	360
12 梶原・津野	1	3	9	2	15
13 四万十町	14	16	15	32	77
14 黒潮・四万十市	13	52	60	96	221
15 宿毛・三原	9	11	12	7	39
16 土佐清水・大月	24	60	83	110	277
合計 (件)	433	725	1,014	1,488	3,660
割合 (%)	11.8	19.8	27.7	40.7	100.0
平均立寄数 (件)	2.3	2.3	2.1	1.4	1.8

(参考 20) 発地別立寄市町村割合 (%) [四国]

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	四国
01 東洋・室戸	16.4	7.0	6.0	8.6	8.5
02 奈半利・田野 等	8.8	6.2	6.5	17.3	11.1
03 安芸・芸西	0.7	0.1	1.0	0.4	0.6
04 香南	2.5	4.7	2.9	2.6	3.1
05 南国・香美	20.3	19.6	13.0	16.1	16.5
06 本山・大豊 等		0.3	0.2	0.1	0.1
07 高知	32.1	30.8	30.8	9.2	22.2
08 いの	1.2	3.7	13.7	15.5	11.0
09 土佐・日高					
10 佐川・越知			0.1		0.0
11 須崎・中土佐	3.9	8.0	8.2	13.6	9.8
12 梶原・津野	0.2	0.4	0.9	0.1	0.4
13 四万十町	3.2	2.2	1.5	2.2	2.1
14 黒潮・四万十市	3.0	7.2	5.9	6.5	6.0
15 宿毛・三原	2.1	1.5	1.2	0.5	1.1
16 土佐清水・大月	5.5	8.3	8.2	7.4	7.6

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(参考 21) 発地別立寄市町村割合 (%) [四国]



(参考 22) 発地別立寄市町村 (件) [九州・沖縄]

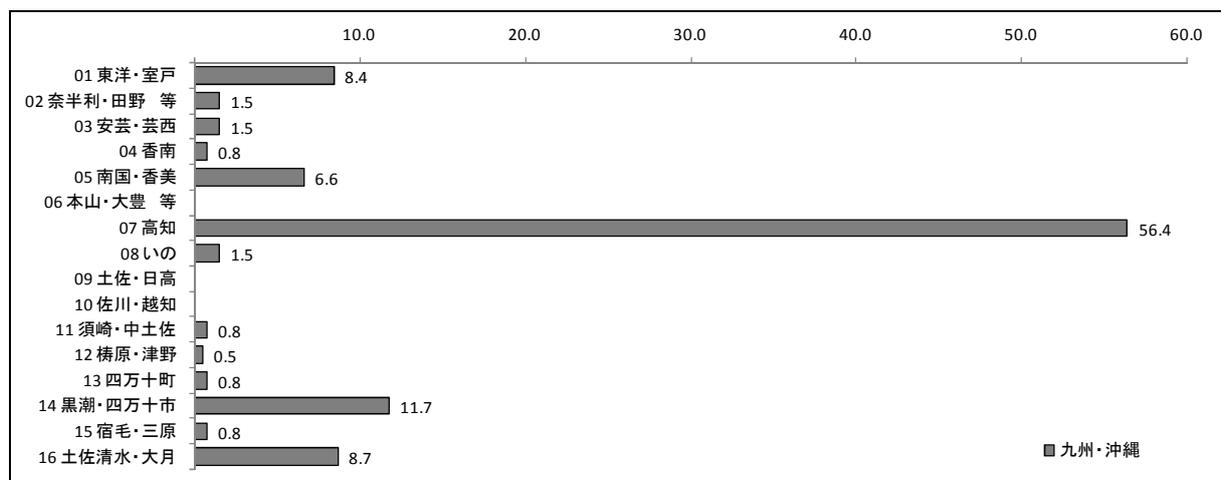
	福岡県 (n=68)	佐賀県 (n=3)	長崎県 (n=9)	熊本県 (n=9)	大分県 (n=16)	宮崎県 (n=7)	鹿児島県 (n=10)	沖縄県 (n=2)	九州・沖縄 (n=124)
01 東洋・室戸	22		3	1	2	5			33
02 奈半利・田野 等	5			1					6
03 安芸・芸西	3	1			1	1			6
04 香南	2					1			3
05 南国・香美	10	1		5		5	5		26
06 本山・大豊 等									
07 高知	106	8	19	13	32	10	27	6	221
08 いの	5		1						6
09 土佐・日高									
10 佐川・越知									
11 須崎・中土佐	1		1			1			3
12 梶原・津野	2								2
13 四万十町				1		1	1		3
14 黒潮・四万十市	24		3	7	9	1	1	1	46
15 宿毛・三原				1		1	1		3
16 土佐清水・大月	16		3	3	7	2	2	1	34
合計 (件)	196	10	30	32	51	28	37	8	392
割合 (%)	50.0	2.6	7.7	8.2	13.0	7.1	9.4	2.0	100.0
平均立寄数 (件)	2.9	3.3	3.3	3.6	3.2	4.0	3.7	4.0	3.2

(参考 23) 発地別立寄市町村割合 (%) [九州・沖縄]

	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	九州・沖縄
01 東洋・室戸	11.2		10.0	3.1	3.9	17.9			8.4
02 奈半利・田野 等	2.6			3.1					1.5
03 安芸・芸西	1.5	10.0			2.0	3.6			1.5
04 香南	1.0					3.6			0.8
05 南国・香美	5.1	10.0		15.6		17.9	13.5		6.6
06 本山・大豊 等									
07 高知	54.1	80.0	63.3	40.6	62.8	35.7	73.0	75.0	56.4
08 いの	2.6		3.3						1.5
09 土佐・日高									
10 佐川・越知									
11 須崎・中土佐	0.5		3.3			3.6			0.8
12 梶原・津野	1.0								0.5
13 四万十町				3.1		3.6	2.7		0.8
14 黒潮・四万十市	12.2		10.0	21.9	17.7	3.6	2.7	12.5	11.7
15 宿毛・三原				3.1		3.6	2.7		0.8
16 土佐清水・大月	8.2		10.0	9.4	13.7	7.1	5.4	12.5	8.7

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(参考 24) 発地別立寄市町村割合 (%) [九州・沖縄]



2-2年代別立寄市町村割合

年代別立寄市町村（件）

	10代 (n=61)	20代 (n=635)	30代 (n=1,087)	40代 (n=719)	50代 (n=679)	60代以上 (n=819)	全体 (n=4,000)
01 東洋・室戸	9	123	183	121	132	173	741
02 奈半利・田野 等	10	76	116	100	126	121	549
03 安芸・芸西		12	12	15	19	18	76
04 香南	3	37	72	30	20	22	184
05 南国・香美	14	225	448	195	125	164	1,171
06 本山・大豊 等				1	6		7
07 高知	60	643	983	797	632	676	3,791
08 いの	5	34	102	85	109	159	494
09 土佐・日高							
10 佐川・越知		1	3			1	5
11 須崎・中土佐	5	81	126	89	104	113	518
12 梶原・津野	1	12	14	11	11	3	52
13 四万十町	3	16	24	20	26	58	147
14 黒潮・四万十市	7	124	196	143	114	145	729
15 宿毛・三原	2	8	8	16	11	48	93
16 土佐清水・大月	9	135	207	161	148	183	843
合計（件）	128	1,527	2,494	1,784	1,583	1,884	9,400
割合（％）	1.4	16.2	26.5	19.0	16.8	20.0	100.0
平均立寄数（件）	2.1	2.4	2.3	2.5	2.3	2.3	2.4

（年代別立寄市町村割合（％））

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	全体
01 東洋・室戸	7.0	8.1	7.3	6.8	8.3	9.2	7.9
02 奈半利・田野 等	7.8	5.0	4.7	5.6	8.0	6.4	5.8
03 安芸・芸西		0.8	0.5	0.8	1.2	1.0	0.8
04 香南	2.3	2.4	2.9	1.7	1.3	1.2	2.0
05 南国・香美	10.9	14.7	18.0	10.9	7.9	8.7	12.5
06 本山・大豊 等				0.1	0.4		0.1
07 高知	46.9	42.1	39.4	44.7	39.9	35.9	40.3
08 いの	3.9	2.2	4.1	4.8	6.9	8.4	5.3
09 土佐・日高							0.0
10 佐川・越知		0.1	0.1			0.1	0.1
11 須崎・中土佐	3.9	5.3	5.1	5.0	6.6	6.0	5.5
12 梶原・津野	0.8	0.8	0.6	0.6	0.7	0.2	0.6
13 四万十町	2.3	1.1	1.0	1.1	1.6	3.1	1.6
14 黒潮・四万十市	5.5	8.1	7.9	8.0	7.2	7.7	7.8
15 宿毛・三原	1.6	0.5	0.3	0.9	0.7	2.6	1.0
16 土佐清水・大月	7.0	8.8	8.3	9.0	9.4	9.7	9.0

※ 白抜き は年代で1位、太字 は同2位

・年代別にみた立寄観光地の延べ件数

年代別に立寄った観光地をみると、30代の旅行者が1,087組で2,494ヶ所（平均2.3ヶ所）で最も多く、次いで60代以上が819組で1,884ヶ所（平均2.3ヶ所）、40代が719組で1,784ヶ所（平均2.5ヶ所）、50代が679組で1,583ヶ所（平均2.3ヶ所）、20代が635組で1,527ヶ所（平均2.4ヶ所）、10代が61組で128ヶ所（平均2.1ヶ所）となっている。

平均立寄数は40代が2.5ヶ所で最も多く、次いで20代が2.4ヶ所、30代と50代、60代以上が2.3ヶ所、10代が2.1ヶ所となっている。

・年代による立寄観光地の傾向

すべての年代で「高知」での立寄りが35～47%と最も多くなっている。2番目に多かった市町村は、10代から40代は「南国・香美」、50代と60代以上は「土佐清水・大月」と分かれている。

- 10代：「高知」の46.9%が年代別で最も多い割合となっている。その一方で「土佐清水・大月」や「黒潮・四万十市」、「須崎・中土佐」は年代別で最も少なくなっている。
- 20代：「高知」と「南国・香美」で全体平均を上回り、「いの」は年代別で最も少なくなっている。
- 30代：「南国・香美」が18.0%と全体平均を5.5ポイント上回り、年代別で最も多くなっている。
- 40代：「高知」が44.7%と年代別で2番目に多く、「東洋・室戸」は年代別で最も少なくなっている。
- 50代・60代以上：「高知」や「南国・香美」で全体平均を下回っている一方で、「東洋・室戸」や「奈半利・田野等」の県東部、さらに「須崎・中土佐」や「土佐清水・大月」の県西部、「いの」で全体平均を上回っている。

2-3 旅行形態別立寄市町村割合

旅行形態別立寄市町村 (件)

	家族 (n=2,799)	友人・知人 (n=682)	団体 (n=29)	その他 (n=39)	一人 (n=451)	全体 (n=4,000)
01 東洋・室戸	445	128	1	3	164	741
02 奈半利・田野 等	377	120		7	45	549
03 安芸・芸西	61	4		3	8	76
04 香南	144	31		3	6	184
05 南国・香美	917	182	4	13	55	1,171
06 本山・大豊 等	4	1			2	7
07 高知	2,718	672	47	34	320	3,791
08 いの	334	66	1	3	90	494
09 土佐・日高						
10 佐川・越知	1	3			1	5
11 須崎・中土佐	368	104	3	2	41	518
12 梶原・津野	34	8			10	52
13 四万十町	98	16	4	3	26	147
14 黒潮・四万十市	499	126	8	5	91	729
15 宿毛・三原	59	6	2	3	23	93
16 土佐清水・大月	588	131	4	12	108	843
合計 (件)	6,647	1,598	74	91	990	9,400
割合 (%)	70.7	17.0	0.8	1.0	10.5	100.0
平均立寄数 (件)	2.4	2.3	2.6	2.3	2.2	2.4

旅行形態別立寄市町村割合 (%)

	家族	友人・知人	団体	その他	一人	全体
01 東洋・室戸	6.7	8.0	1.4	3.3	16.6	7.9
02 奈半利・田野 等	5.7	7.5		7.7	4.6	5.8
03 安芸・芸西	0.9	0.3		3.3	0.8	0.8
04 香南	2.2	1.9		3.3	0.6	2.0
05 南国・香美	13.8	11.4	5.4	14.3	5.6	12.5
06 本山・大豊 等	0.1	0.1			0.2	0.1
07 高知	40.9	42.1	63.5	37.4	32.3	40.3
08 いの	5.0	4.1	1.4	3.3	9.1	5.3
09 土佐・日高						0.0
10 佐川・越知	0.0	0.2			0.1	0.1
11 須崎・中土佐	5.5	6.5	4.1	2.2	4.1	5.5
12 梶原・津野	0.5	0.5			1.0	0.6
13 四万十町	1.5	1.0	5.4	3.3	2.6	1.6
14 黒潮・四万十市	7.5	7.9	10.8	5.5	9.2	7.8
15 宿毛・三原	0.9	0.4	2.7	3.3	2.3	1.0
16 土佐清水・大月	8.9	8.2	5.4	13.2	10.9	9.0

※ 白抜き は旅行形態で1位、太字 は同2位

・旅行形態別に見た立寄観光地の延べ件数

旅行形態別に立寄った観光地をみると、集計対象の多い家族旅行者が 2,799 組で 6,647 ヶ所（平均 2.4 ヶ所）と全体の 70.7%を占めている。次いで友人・知人が 682 組で 1,598 ヶ所（平均 2.3 ヶ所）、一人旅が 451 人で 990 ヶ所（平均 2.2 ヶ所）、団体旅行が 29 組で 74 ヶ所（平均 2.6 ヶ所）、その他は 39 組で 91 ヶ所（平均 2.3 ヶ所）となっている。

・旅行形態による立寄市町村の傾向

すべての旅行形態で「高知」が最も多い割合を占めている。特に団体旅行の場合は、63.5%と全体平均の 40.3%を大きく上回っている。2 番目に多くなった市町村は、家族、友人・知人、その他が「南国・香美」、団体が「黒潮・四万十市」、一人旅が「東洋・室戸」となっている。

- 家族旅行：集計対象の大半を占めているため、市町村別の全体平均に近くなっているが、「南国・香美」が 13.8%と全体平均を 1.3 ポイント上回っている。その一方で、「東洋・室戸」が 1.2 ポイント下回っている。
- 友人・知人：「高知」や「奈半利・田野等」、「須崎・中土佐」などで全体平均を上回り、「いの」や「土佐清水・大月」が少なくなっている。
- 団体旅行：前述の通り、「高知」が全体平均を 23.2 ポイント上回り、「黒潮・四万十市」も多くなっている。
- その他：「南国・香美」や「土佐清水・大月」が旅行形態別で最も多くなっている。
- 一人旅：「東洋・室戸」が 16.6%と全体平均を 8.7 ポイント上回り、「黒潮・四万十市」や「土佐清水・大月」、「いの」なども多くなっている。その反面で「南国・香美」や「高知」では少なくなっている。

2-4 旅行目的別立寄市町村割合

旅行目的別立寄市町村 (件)

	自然見物 (n=1,039)	休養 (n=191)	祭り (n=174)	アウトドア (n=80)	スポーツ (n=19)	食べ物 (n=296)	神仏霊場 (n=128)	買い物 (n=80)	名所旧跡 (n=1,052)	なんとなく (n=500)	帰省・仕事 (n=342)	その他 (n=99)	全体 (n=4,000)
01 東洋・室戸	253	18	16	12	5	28	84	5	130	140	42	8	741
02 奈半利・田野 等	283	29	13	1		26	4		90	55	30	18	549
03 安芸・芸西	18	2				1			39	5	10	1	76
04 香南	60	7	5	2		7	4		63	17	14	5	184
05 南国・香美	250	28	65	7	8	34	39	6	549	86	78	21	1,171
06 本山・大豊 等	2			1		1			1	2			7
07 高知	792	147	176	50	12	239	61	28	1,704	207	304	71	3,791
08 いの	119	27	38	13	1	27		32	39	112	53	33	494
09 土佐・日高													
10 佐川・越知	1	1					1		2				5
11 須崎・中土佐	58	81	5	18	2	159	5	24	45	66	47	8	518
12 梶原・津野	18	1		3		4		1	12	8	3	2	52
13 四万十町	19	4	2	1		7	73	5	14	9	11	2	147
14 黒潮・四万十市	279	25	7	48	2	41	20	18	142	82	60	5	729
15 宿毛・三原	8			1			77			5	2		93
16 土佐清水・大月	298	24	4	49	2	37	98	1	155	106	60	9	843
合計 (件)	2,458	394	331	206	32	611	466	120	2,985	900	714	183	9,400
割合 (%)	26.1	4.2	3.5	2.2	0.3	6.5	5.0	1.3	31.8	9.6	7.6	1.9	100.0
平均立寄数 (件)	2.4	2.1	1.9	2.6	1.7	2.1	3.6	1.5	2.8	1.8	2.1	1.8	2.4

旅行目的別立寄市町村割合 (%)

	自然見物	休養	祭り	アウトドア	スポーツ	食べ物	神仏霊場	買い物	名所旧跡	なんとなく	帰省・仕事	その他	全体
01 東洋・室戸	10.3	4.6	4.8	5.8	15.6	4.6	18.0	4.2	4.4	15.6	5.9	4.4	7.9
02 奈半利・田野 等	11.5	7.4	3.9	0.5		4.3	0.9		3.0	6.1	4.2	9.8	5.8
03 安芸・芸西	0.7	0.5				0.2			1.3	0.6	1.4	0.6	0.8
04 香南	2.4	1.8	1.5	1.0		1.2	0.9		2.1	1.9	2.0	2.7	2.0
05 南国・香美	10.2	7.1	19.6	3.4	25.0	5.6	8.4	5.0	18.4	9.6	10.9	11.5	12.5
06 本山・大豊 等	0.1			0.5		0.2			0.0	0.2			0.1
07 高知	32.2	37.3	53.2	24.3	37.5	39.1	13.1	23.3	57.1	23.0	42.6	38.8	40.3
08 いの	4.8	6.9	11.5	6.3	3.1	4.4		26.7	1.3	12.4	7.4	18.0	5.3
09 土佐・日高													0.0
10 佐川・越知	0.0	0.3					0.2		0.1				0.1
11 須崎・中土佐	2.4	20.6	1.5	8.7	6.3	26.0	1.1	20.0	1.5	7.3	6.6	4.4	5.5
12 梶原・津野	0.7	0.3		1.5		0.7		0.8	0.4	0.9	0.4	1.1	0.6
13 四万十町	0.8	1.0	0.6	0.5		1.2	15.7	4.2	0.5	1.0	1.5	1.1	1.6
14 黒潮・四万十市	11.4	6.4	2.1	23.3	6.3	6.7	4.3	15.0	4.8	9.1	8.4	2.7	7.8
15 宿毛・三原	0.3			0.5			16.5			0.6	0.3		1.0
16 土佐清水・大月	12.1	6.1	1.2	23.8	6.3	6.1	21.0	0.8	5.2	11.8	8.4	4.9	9.0

※ 白抜き は旅行目的で1位、太字 は同2位

・旅行目的別にみた立寄観光地の延べ件数

旅行目的別に立寄った観光地をみると、“名所旧跡”が1,052組で2,985ヶ所（平均2.8ヶ所）と全体の31.8%を占めている。次いで“自然見物”が1,039組で2,458ヶ所（平均2.4ヶ所）、“なんとなく”が500組で900ヶ所（平均1.8ヶ所）、“帰省・仕事”が342組で714ヶ所（平均2.1ヶ所）、“食べ物”が296組で611ヶ所（平均2.1ヶ所）、“神仏霊場”が128組で466ヶ所（平均3.6ヶ所）などとなっている。

・旅行目的による立寄市町村の傾向

ほとんどの旅行目的で「高知」が最も多い割合を占めているが、“神仏霊場”は「土佐清水・大月」、「買い物」は「いの」が最も多くなっている。2番目に多かった市町村は、“名所旧跡”や“帰省・仕事”など4項目で「南国・香美」、「神仏霊場」と“なんとなく”は「東洋・室戸」、「休養」と“食べ物”は「須崎・中土佐」、「自然風景」と“アウトドア”は「土佐清水・大月」、「買い物」は「高知」となっている。

- 名所旧跡：「高知」が57.1%と旅行目的別で最も多く、「南国・香美」も全体平均を超えて多くなっている。その一方で「東洋・室戸」や「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」などは少なくなっている。
- 自然見物：名所旧跡と正反対の傾向で、「高知」や「南国・香美」が少なく、「東洋・室戸」や「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」などが多くなっている。なお、「奈半利・田野等」が旅行目的別で最も多くなっている。
- なんとなく：ドライブやツーリング目的の旅行者を含むため、自然見物と同様の傾向となっている。特に「高知」は23.0%と旅行目的別で2番目に少ないのが特徴で、県内各地を幅広く立寄っている。
- 帰省・仕事：「高知」が全体平均を上回った以外は、目立つ傾向はなかった。
- 食べ物：「須崎・中土佐」が26.0%と全体平均を20.5ポイント上回り、旅行目的別で群を抜いて多くなっている。
- 休養：食べ物と同様に「須崎・中土佐」が20.6%と多くなっている。
- 祭り：「高知」、「南国・香美」、「いの」などが全体平均を上回って多くなっている。
- 神仏霊場：「土佐清水・大月」と「東洋・室戸」で全体平均を10ポイント以上も上回っている。「東洋・室戸」、「四万十町」、「宿毛・三原」は旅行目的別で最も多く、「土佐清水・大月」は2番目に多くなっている。その反面で「高知」、「いの」、「須崎・中土佐」最も少なくなっている。
- アウトドア：「高知」、「土佐清水・大月」、「黒潮・四万十市」の3地域がそれぞれ約4分の1となり、「須崎・中土佐」や「いの」が全体平均を上回っている。なお、「土佐清水・大月」と「黒潮・四万十市」は旅行目的別で最も多くなっている。
- 買い物：「いの」、「高知」、「須崎・中土佐」、「黒潮・四万十市」の4地域が多く、その合計は85.0%と大半を占めている。なお、「いの」が旅行目的別では最も多くなっている。

■ 3 周遊ルート分析

- 集計方法について
 - ・ 「訪問した（する予定の）観光地」を下記の周遊6エリアで集計し、傾向の似通ったルートを抽出している。
 - ・ 周遊ルートの傾向をより分かりやすくするため、訪問した周遊エリアで連続したデータは省略している。
※例 「中央」 - 「中央」 - 「中央東」の場合、「中央」 - 「中央東」として集計。
 - ・ 発地ブロック別分析では、北海道・東北、北陸・新潟、海外の3ブロックからは入込が少数のため、この3ブロックを合計し、“その他”として集計している。
 - ・ 県内旅行者の周遊ルートは居住地や調査地等の影響を強く受けているため、全体および四国ブロックから除外し、単独で集計している。

- 周遊6エリア

東部 : 東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市、芸西村
中央東 : 香南市、南国市、香美市、本山町、大豊町、土佐町、大川村
中央 : 高知市
中央西 : いの町、土佐市、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町
高幡 : 須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町
幡多 : 四万十市、黒潮町、宿毛市、三原村、土佐清水市、大月町

※表中の「他エリアへの移動なし」は、最初に訪れた周遊エリア以外での観光がないことを表している。

● 周遊ルートの傾向、および特徴

この項目では、平成23年観光統計調査で得られた、「訪問した（する予定の）観光地」データを基に、旅行者（発地ブロック別、旅行形態別）がどのような順序で県内地域を観光したか、その周遊ルートを分析した

回答のあったすべての県外旅行者の周遊ルートをみると、「中央」エリアだけで観光を終える割合が18.0%で最も高く、その他の単一エリア内で観光を終えるルートも含めると47.9%となった。広範囲に移動するルートの上位をみても、「中央」を含むルートで占められるという結果となった。

主な発地ブロック別で傾向をみると、四国ブロックは県内全域が高知県観光の目的地となっているものの、広範囲に移動するルートは少なかった。また、発地ブロック別で唯一、「中央東」エリアだけで観光を終えるルートが最も多いという特徴が見られた。

近畿ブロックと中国ブロックは、単一エリアで観光を終えるルートが45%前後で、その中でも「中央」エリアが最も多くなっている。広範囲に移動するルートは「中央」を含むルートが上位になっている。

関東ブロックと九州・沖縄ブロックは、単一エリアで観光を終えるルートが40%前後で、近畿などと同様に「中央」エリアが最も多くなっている。広範囲に移動するルートでは、「中央」と「幡多」のルートが上位となっている。

甲信・東海ブロックは、単一エリアで観光を終えるルートは45.1%で、中でも「中央」エリアが33.1%と群を抜いて多くなっている。広範囲に周遊するルートは「中央」エリアを含むルートが多いものの、近畿や中国ブロックと異なり、前後のエリアは分散している。

県内旅行者は、単一エリアで観光を終えるルートが91.7%と大半を占めており、「高幡」から「幡多」へのルートをのぞくと、広範囲に移動するルートは1%未満とごく少数にとどまっている。

旅行形態別で傾向をみると、家族旅行は、単一エリアで観光を終えるルートが58.2%で、「中央」、「中央東」、「東部」の順で多くなっている。全体平均と比べ、「中央東」を含むルートの割合が多くなっている。

友人・知人との旅行は、単一エリアで観光を終えるルートが60.4%で、その中でも「東部」が最も多くなっている。「中央東」はエリア単独で観光を終える割合は少なく、「中央」エリアとの組み合わせで周遊する傾向が見られる。

団体旅行は、単一エリアで観光を終えるルートが79.3%と旅行形態別で最も多く、特に「中央」と「幡多」の2エリアに集中している。

一人旅は、単一エリアで観光を終えるルートが65.2%を占めている。全体平均を上回ったエリアが「中央西」、「東部」、「幡多」で、残りの3エリアは反対に大きく下回っている。また、全体と一人旅では、広範囲に移動するルートの上位がほとんど合致していないという傾向が見られる。

3-1 発地別周遊ルート

3-1-1 県外旅行者全体

すべての県外旅行者 2,929 組の周遊ルートは以下の通りであった。

周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		57	129	3	8	16	220	433
	中央東	40		184	3	12	4	224	467
	中央	127	248		47	60	178	526	1,186
	中央西	4	5	60		4	5	86	164
	高幡	3	6	42	1		100	92	244
	幡多	12	6	120	1	42		254	435
	計	186	322	535	55	126	303	1,402	2,929

周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					526	18.0 %
幡多					254	8.7 %
中央東					224	7.6 %
東部					220	7.5 %
中央	→	中央東			180	6.1 %
中央東	→	中央			147	5.0 %
中央	→	幡多			144	4.9 %
中央	→	東部			100	3.4 %
幡多	→	中央			93	3.2 %
高幡					92	3.1 %
中央西					86	2.9 %
高幡	→	幡多			80	2.7 %
東部	→	中央			79	2.7 %
中央西	→	中央			54	1.8 %
中央	→	中央西			36	1.2 %
中央	→	中央東	→	中央	34	1.2 %
高幡	→	中央			34	1.2 %
東部	→	中央	→	幡多	30	1.0 %
中央	→	高幡			30	1.0 %
中央東	→	東部			29	1.0 %

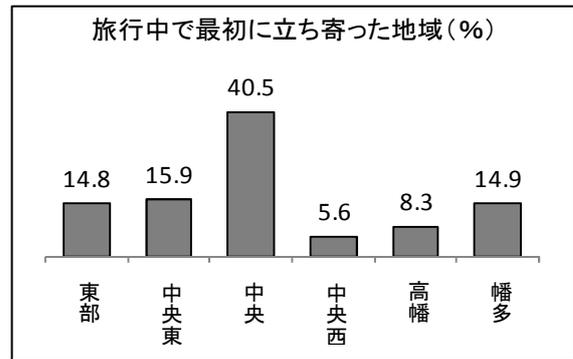
・上位を占めた周遊ルート

県外旅行者 2,929 組の周遊ルートを見ると、単一エリア内で観光を終えた周遊ルートが上位を占めている。なお、単一エリア内で観光を終えた周遊ルートすべての割合は、1,402 組で全体の 47.9%を占めている。

占める割合の多い順で周遊ルートを見ると、「中央」を訪問し、他エリアでの周遊がない旅行者が 526 組 (18.0%) で最も多くなった。次いで、「幡多」のみが 254 組 (8.7%)、「中央東」のみが 224 組 (7.6%)、「東部」のみが 220 組 (7.5%) となっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄ったエリアは、「中央」が最も多く 1,186 組 (40.5%)、次いで「中央東」467 組 (15.9%)、「幡多」435 組 (14.9%)、「東部」433 組 (14.8%)、「高幡」244 組 (8.3%)、「中央西」164 組 (5.6%) となっている。

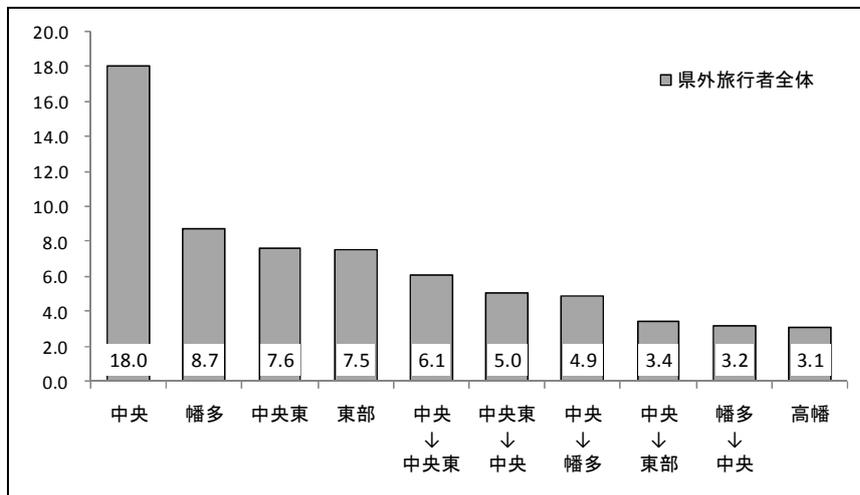


・周遊ルートの傾向

他エリアへの移動を伴う周遊ルートに限って上位を見ると、「中央」から「中央東」の 180 組 (6.1%)、「中央東」から「中央」の 147 組 (5.0%)、「中央」から「幡多」の 144 組 (4.9%)、「中央」から「東部」の 100 組 (3.4%) などが多くなっている。

このように他エリアへの移動を伴う周遊ルートの場合は、「中央」を含む周遊ルートが上位になっていることが、顕著な傾向として表れている。

主な周遊ルート割合 (%) [上位 10 位まで]



3-1-2 四国

高知県を除く四国3県からの旅行者 995 組の周遊ルートは以下の通りであった。

発地別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計	最初に立寄った割合(%)
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし		
周遊エリア1	東部		19	20	3	4		116	162	16.3
	中央東	23		62	3	7		133	228	22.9
	中央	38	68		23	20	8	95	252	25.3
	中央西	3	3	36		3	2	65	112	11.3
	高幡		4	20	1		39	63	127	12.8
	幡多	3		5		9		97	114	11.5
	計	67	94	143	30	43	49	569	995	

発地別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央東					133	13.4 %
東部					116	11.7 %
幡多					97	9.7 %
中央					95	9.5 %
中央西					65	6.5 %
高幡					63	6.3 %
中央	→	中央東			58	5.8 %
中央東	→	中央			52	5.2 %
高幡	→	幡多			37	3.7 %
中央	→	東部			36	3.6 %
中央西	→	中央			33	3.3 %
中央	→	中央西			21	2.1 %
中央東	→	東部			19	1.9 %
高幡	→	中央			16	1.6 %
東部	→	中央			15	1.5 %
東部	→	中央東			13	1.3 %
中央	→	高幡			13	1.3 %

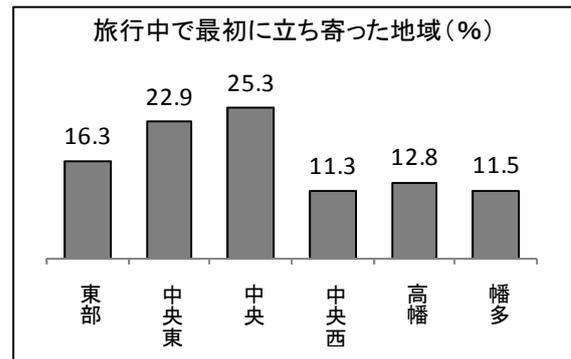
・上位を占めた周遊ルート

四国3県の旅行者 995 組の周遊ルートを見ると、「中央東」のみを訪問した旅行者が 133 組 (13.4%) と最も多かった。次いで「東部」のみが 116 組 (11.7%)、「幡多」のみが 97 組 (9.7%)、「中央」のみが 95 組 (9.5%)、「中央西」のみが 65 組 (6.5%)、「高幡」のみが 63 組 (6.3%) などとなっている。このように、上位 6 位まで単一エリア内で観光を終える周遊ルートが占め、その割合は 57.1% と半数を超えている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートの上位をみると、「中央」から「中央東」の 58 組 (5.8%)、「中央東」から「中央」の 52 組 (5.2%)、「高幡」から「幡多」の 37 組 (3.7%)、「中央」から「東部」の 36 組 (3.6%) などとなっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った周遊エリアは、「中央」が最も多く 252 組 (25.3%)、次いで「中央東」228 組 (22.9%)、「東部」162 組 (16.3%)、「高幡」127 組 (12.8%)、「幡多」114 組 (11.5%)、「中央西」112 組 (11.3%) となっている。

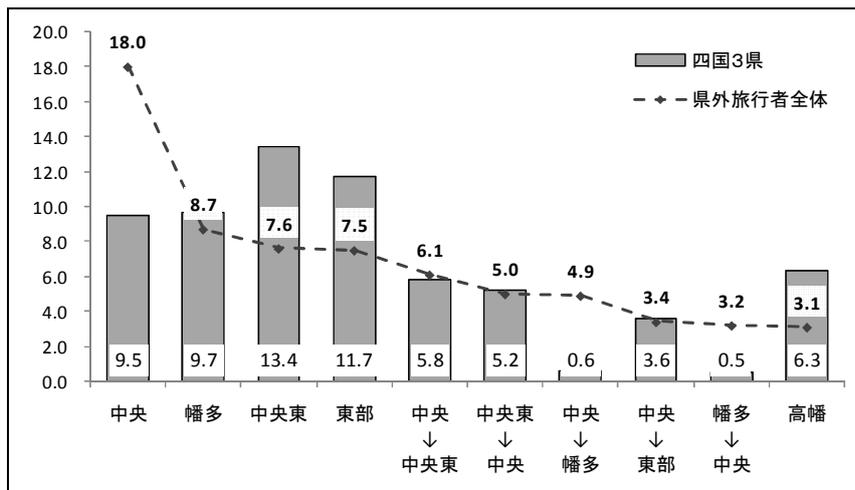


・周遊ルートの傾向

他のブロックや県外全体と比べ、「中央」を含む周遊ルートの割合が少なくなっている。特に、県外全体では最も多い「中央」のみで観光を終えた割合は県外全体より 8.5 ポイント少ない 9.5%、「中央」から「幡多」へのルート、その逆ルートも少なくなっている。一方で、「中央東」や「東部」、「高幡」のみで観光を終えた割合は県外全体よりも多くなっている。

以上のことから、四国3県からの高知県観光は、「中央」だけではなく、県内全域が主な目的地とするが、広範囲に移動はしない日帰り旅行が多いと推測される。

主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体との比較]



3-1-3 近畿

近畿ブロックからの旅行者 762 組の周遊ルートは以下の通りであった。

発地別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		13	38		2	6	49	108
	中央東	8		49		2	2	39	100
	中央	24	81		6	14	57	166	348
	中央西			7			1	9	17
	高幡	3	1	9			31	17	61
	幡多	2	2	43		15		66	128
	計	37	97	146	6	33	97	346	762

発地別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					166	21.8 %
幡多					66	8.7 %
中央	→	中央東			54	7.1 %
東部					49	6.4 %
中央	→	幡多			46	6.0 %
中央東					39	5.1 %
中央東	→	中央			36	4.7 %
幡多	→	中央			33	4.3 %
東部	→	中央			22	2.9 %
高幡	→	幡多			22	2.9 %
中央	→	東部			18	2.4 %
高幡					17	2.2 %
中央	→	中央東	→	東部	10	1.3 %
中央	→	中央東	→	中央	10	1.3 %
東部	→	中央	→	幡多	10	1.3 %
中央西					9	1.2 %
中央東	→	中央	→	幡多	8	1.0 %
中央	→	高幡			8	1.0 %
高幡	→	中央			8	1.0 %

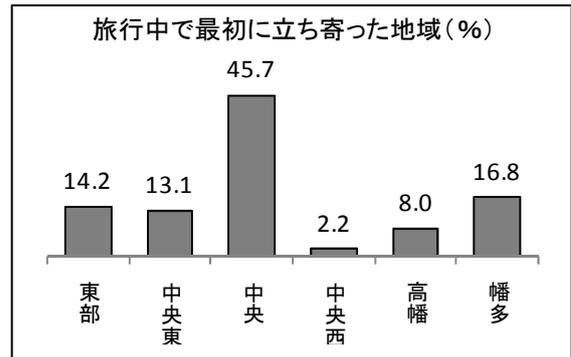
・上位を占めた周遊ルート

近畿ブロックの旅行者 762 組の周遊ルートを見ると、「中央」のみを訪問した旅行者が 166 組 (21.8%) と最も多かった。次いで「幡多」のみが 66 組 (8.7%)、「中央」から「中央東」のルートが 54 組 (7.1%)、「東部」のみが 49 組 (6.4%)、「中央」から「幡多」が 46 組 (6.0%)、「中央東」のみが 39 組 (5.1%)、「中央東」から「中央」が 36 組 (4.7%) などとなっている。

エリアを越えず、単一エリアだけで観光を終える周遊ルートは、合計で 346 組と近畿全体の 45.4% を占めている。その内訳は「中央」166 組 (21.8%)、「幡多」66 組 (8.7%)、「東部」49 組 (6.4%)、「中央東」39 組 (5.1%)、「高幡」17 組 (2.2%)、「中央西」9 組 (1.2%) となっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く 348 組 (45.7%)、次いで「幡多」128 組 (16.8%)、「東部」108 組 (14.2%)、「中央東」100 組 (13.1%)、「高幡」61 組 (8.0%)、「中央西」17 組 (2.2%) となっている。

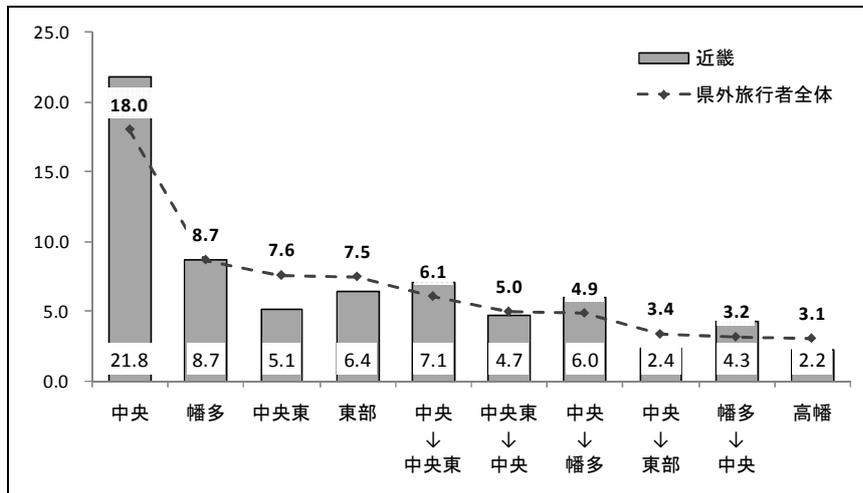


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「中央」を含む周遊ルートの割合が多くなっている。その一方で、「中央東」や「東部」のみで観光を終えた割合は県外全体よりも少なくなっている。

旅行の始めに「中央」へ立ち寄り、広範囲な周遊をしない、または他エリアと「中央」を組み合わせたルートなど、「中央」エリアが高知県観光の中心になっていると推測される。

主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体との比較]



3-1-4 中国

中国ブロックからの旅行者 423 組の周遊ルートは以下の通りであった。

発地別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		9	16			2	27	54
	中央東	6		36		2	1	32	77
	中央	23	41		4	10	24	78	180
	中央西	1	1	8		1	1	5	17
	高幡		1	5			13	6	25
	幡多		1	23		9		37	70
	計	30	53	88	4	22	41	185	423

発地別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					78	18.4 %
幡多					37	8.7 %
中央東					32	7.6 %
中央	→	中央東			31	7.3 %
中央東	→	中央			27	6.4 %
東部					27	6.4 %
幡多	→	中央			22	5.2 %
中央	→	幡多			21	5.0 %
中央	→	東部			16	3.8 %
東部	→	中央			13	3.1 %
高幡	→	幡多			10	2.4 %
中央西	→	中央			8	1.9 %
中央	→	中央東	→	中央	7	1.7 %
高幡					6	1.4 %
中央	→	高幡			5	1.2 %
東部	→	中央東			5	1.2 %
中央西					5	1.2 %

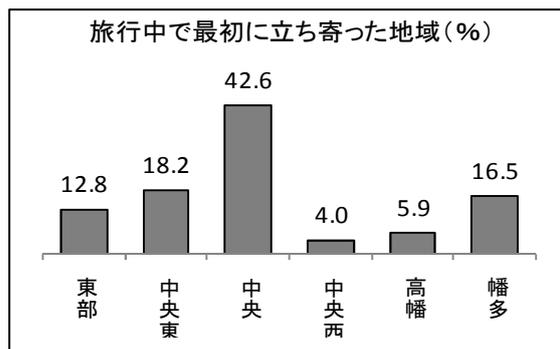
・上位を占めた周遊ルート

中国ブロックの旅行者 423 組の周遊ルートを見ると、「中央」のみを訪問した旅行者が 78 組 (18.4%) と最も多かった。次いで「幡多」のみが 37 組 (8.7%)、「中央東」のみが 32 組 (7.6%)、「中央」から「中央東」のルートが 31 組 (7.3%)、「中央東」から「中央」のルートが 27 組 (6.4%)、「東部」のみが 27 組 (6.4%) などとなっている。

単一エリアだけで観光を終える周遊ルートは、合計で 185 組と中国全体の 43.7% を占めている。その内訳は「中央」78 組 (18.4%)、「幡多」37 組 (8.7%)、「中央東」32 組 (7.6%)、「東部」27 組 (6.4%)、「高幡」6 組 (1.4%)、「中央西」5 組 (1.2%) となっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く 180 組 (42.6%)、次いで「中央東」の 77 組 (18.2%)、「幡多」の 70 組 (16.5%)、「東部」の 54 組 (12.8%)、「高幡」の 25 組 (5.9%)、「中央西」の 17 組 (4.0%) となっている。

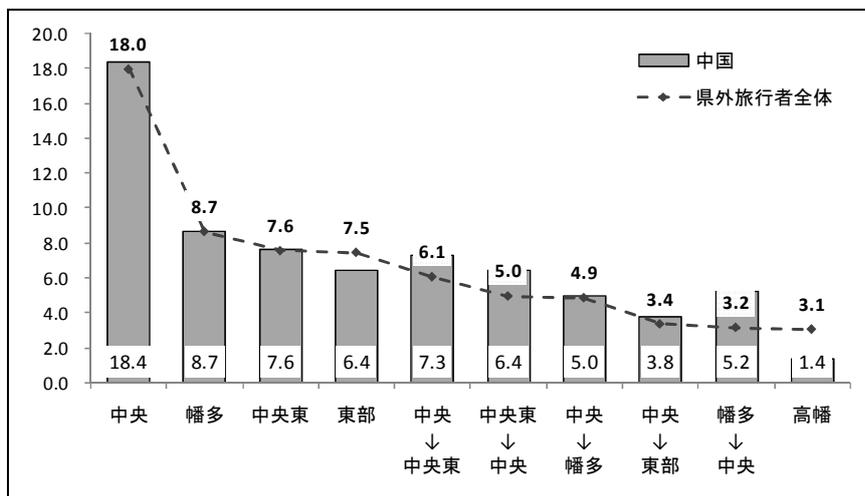


・周遊ルートの傾向

県外全体の上位 10 位までのルートに限ると、よく似通った結果となっている。県外全体と比べ、割合が多くなっているルートは、「幡多」から「中央」、「中央」から「中央東」と、その逆ルートなどとなった。

高知県観光の中心が「中央」エリアという近畿ブロックと同様の傾向が、やや弱まった結果となっている。

主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-1-5 関東

関東ブロックからの旅行者 395 組の周遊ルートは以下の通りであった。

発地別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		9	26		2	6	16	59
	中央東	1		22				10	33
	中央	20	27		9	9	53	90	208
	中央西			4				4	8
	高幡			7			9	5	21
	幡多	4	2	26	1	4		29	66
	計	25	38	85	10	15	68	154	395

発地別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					90	22.8 %
中央	→	幡多			40	10.1 %
幡多					29	7.3 %
中央東	→	中央			22	5.6 %
幡多	→	中央			17	4.3 %
東部					16	4.1 %
東部	→	中央			15	3.8 %
中央	→	東部			15	3.8 %
中央	→	中央東			14	3.5 %
中央東					10	2.5 %
中央	→	中央東	→	中央	8	2.0 %
東部	→	中央	→	幡多	8	2.0 %
幡多	→	中央	→	東部	7	1.8 %
東部	→	中央東	→	中央	6	1.5 %
中央	→	幡多	→	中央	5	1.3 %
中央	→	東部	→	中央	5	1.3 %
高幡	→	中央			5	1.3 %
東部	→	幡多			5	1.3 %
高幡					5	1.3 %

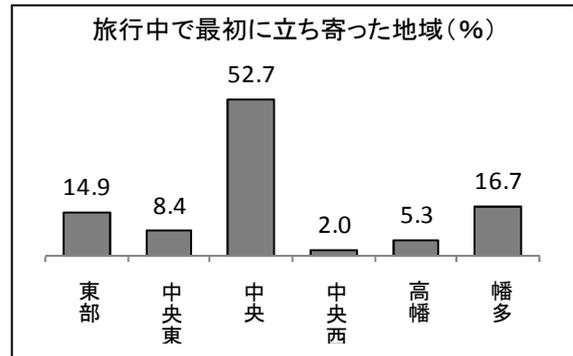
・上位を占めた周遊ルート

関東ブロックの旅行者 395 組の周遊ルートを見ると、「中央」のみを訪問した旅行者が 90 組 (22.8%) と最も多かった。次いで「中央」から「幡多」のルートが 40 組 (10.1%)、「幡多」のみが 29 組 (7.3%)、「中央東」から「中央」のルートが 22 組 (5.6%)、「幡多」から「中央」のルートが 17 組 (4.3%)、「東部」のみが 16 組 (4.1%) などとなっている。

単一エリアだけで観光を終える周遊ルートは、合計で 154 組と関東全体の 39.0% を占めている。その内訳は「中央」90 組 (22.8%)、「幡多」29 組 (7.3%)、「東部」16 組 (4.1%)、「中央東」10 組 (2.5%)、「高幡」5 組 (1.3%)、「中央西」4 組 (1.0%) となっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く 208 組 (52.7%)、次いで「幡多」の 66 組 (16.7%)、「東部」の 59 組 (14.9%)、「中央東」の 33 組 (8.4%)、「高幡」の 21 組 (5.3%)、「中央西」の 8 組 (2.0%) となっている。

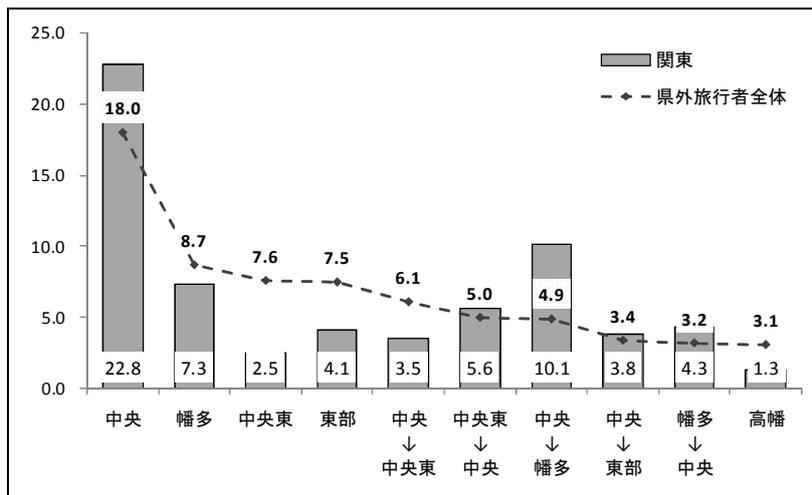


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「中央」のみと「中央」から「幡多」ルートの割合が目立って多くなっている。その一方で、「中央」以外の単一エリアのみで観光を終えた割合は県外全体よりも少なくなっている。

周遊ルートの上位を「中央」と「幡多」を含むルートで占めていることから、高知県観光の中心が「中央」と「幡多」になっていると推測される。

主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-1-6 九州・沖縄

九州・沖縄ブロックからの旅行者 124 組の周遊ルートは以下の通りであった。

発地別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		2	8			1	5	16
	中央東			7				3	10
	中央	9	6			2	16	30	63
	中央西			3				1	4
	高幡			1			1		2
	幡多	2		14		2		11	29
	計	11	8	33		4	18	50	124

発地別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					30	24.2 %
中央	→	幡多			15	12.1 %
幡多					11	8.9 %
幡多	→	中央			10	8.1 %
中央	→	東部			8	6.5 %
中央東	→	中央			5	4.0 %
中央	→	中央東			5	4.0 %
東部					5	4.0 %
東部	→	中央	→	幡多	4	3.2 %
幡多	→	中央	→	東部	3	2.4 %
東部	→	中央			3	2.4 %
中央東					3	2.4 %
中央西	→	中央			3	2.4 %
東部	→	中央東	→	中央	2	1.6 %
幡多	→	東部			2	1.6 %

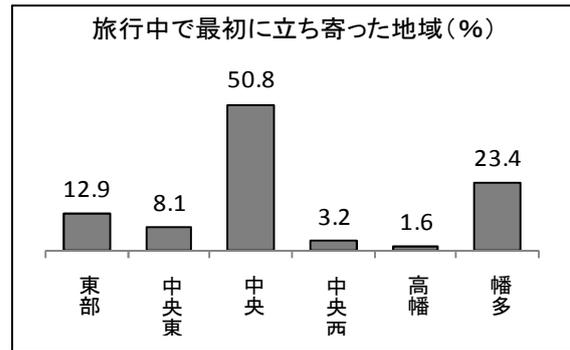
・上位を占めた周遊ルート

九州・沖縄ブロックの旅行者 124 組の周遊ルートを見ると、「中央」のみを訪問した旅行者が 30 組 (24.2%) と最も多かった。次いで「中央」から「幡多」のルートが 15 組 (12.1%)、「幡多」のみが 11 組 (8.9%)、「幡多」から「中央」のルートが 10 組 (8.1%)、「中央」から「東部」のルートが 8 組 (6.5%) などとなっている。

単一エリアだけで観光を終える周遊ルートは、合計で 50 組と九州・沖縄全体の 40.3% を占めた。その内訳は「中央」30 組 (24.2%)、「幡多」11 組 (8.9%)、「東部」5 組 (4.0%)、「中央東」3 組 (2.4%)、「中央西」1 組 (0.8%) となっている。

・周遊ルートの玄関口

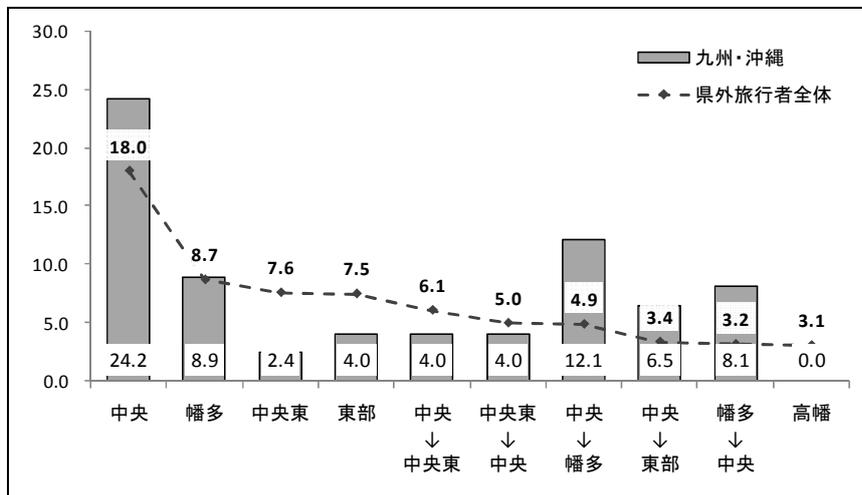
旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く 63 組 (50.8%)、次いで「幡多」の 29 組 (23.4%)、「東部」の 16 組 (12.9%)、「中央東」の 10 組 (8.1%)、「中央西」の 4 組 (3.2%)、「高幡」の 2 組 (1.6%) となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「中央」のみ、「中央」と「幡多」のルートが目立って多く、「中央」と「幡多」以外の単一エリアのみで観光を終えた割合や「中央東」と「中央」のルートは少なくなっている。関東ブロックと同様に、高知県観光の中心が「中央」と「幡多」という結果となっている。また、「中央」から「東部」へのルートがブロック別で最も多い割合となっている。

主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体との比較]



3-1-7 甲信・東海

甲信・東海ブロックからの旅行者 157 組の周遊ルートは以下の通りであった。

発地別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		3	14			1	4	22
	中央東	2		5			1	3	11
	中央	9	16		3	4	12	52	96
	中央西			1					1
	高幡						4	1	5
	幡多	1		7		3		11	22
	計	12	19	27	3	7	18	71	157

発地別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					52	33.1 %
中央	→	中央東			12	7.6 %
幡多					11	7.0 %
中央	→	幡多			10	6.4 %
東部	→	中央			8	5.1 %
中央	→	東部			5	3.2 %
幡多	→	中央			5	3.2 %
東部					4	2.5 %
中央	→	高幡	→	幡多	4	2.5 %
高幡	→	幡多			4	2.5 %
東部	→	中央	→	幡多	3	1.9 %
中央東	→	中央			3	1.9 %
中央東					3	1.9 %

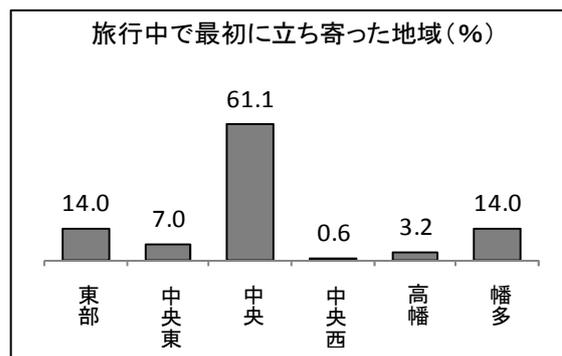
・上位を占めた周遊ルート

甲信・東海ブロックの旅行者 157 組の周遊ルートを見ると、「中央」のみを訪問した旅行者が 52 組 (33.1%) と最も多かった。次いで「中央」から「中央東」のルートが 12 組 (7.6%)、「幡多」のみが 11 組 (7.0%)、「中央」から「幡多」のルートが 10 組 (6.4%)、「東部」から「中央」のルートが 8 組 (5.1%) などとなっている。

単一エリアだけで観光を終える周遊ルートは、合計で 71 組と甲信・東海全体の 45.1% を占めている。その内訳は「中央」52 組 (33.1%)、「幡多」11 組 (7.0%)、「東部」4 組 (2.5%)、「中央東」3 組 (1.9%)、「高幡」1 組 (0.6%) となっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く 96 組 (61.1%)、次いで「幡多」と「東部」が同数の 22 組 (14.0%)、「中央東」の 11 組 (7.0%)、「高幡」の 5 組 (3.2%)、「中央西」の 1 組 (0.6%) となっている。

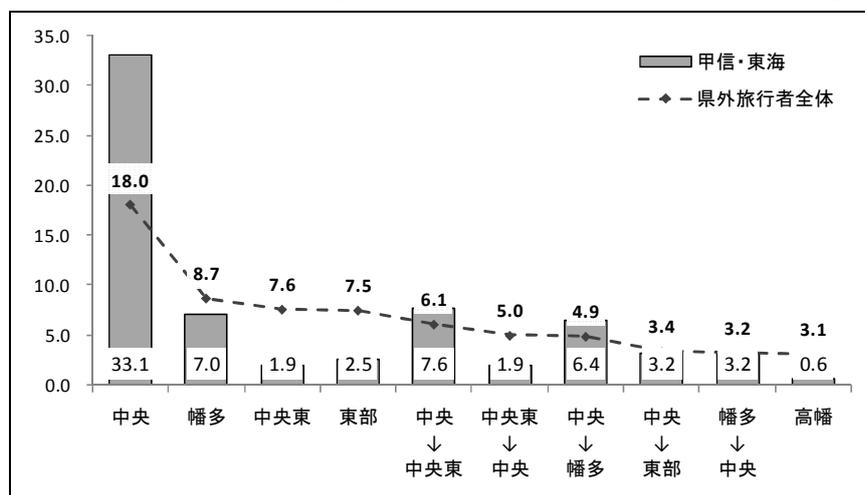


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「中央」エリアのみで観光を終える割合が目立って多くなっている一方で、「中央」エリア以外の単一エリアで観光を終える割合は少なくなっている。その他のルートでは、「中央」から「中央東」と「中央」から「幡多」で県外全体を上回っている。

高知県観光は「中央」エリアが中心で、他のエリアとの組み合わせは「中央東」、「幡多」、「東部」などに分散しているという結果となっている。

主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-1-8 その他(北海道・東北、北陸・新潟、海外)

その他3ブロック(北海道・東北、北陸・新潟、海外)の旅行者73組の周遊ルートは以下の通りであった。

発地別周遊ルート(件)[周遊エリア2まで]

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		2	7				3	12
	中央東			3		1		4	8
	中央	4	9		2	1	8	15	39
	中央西		1	1			1	2	5
	高幡						3		3
	幡多		1	2				3	6
	計	4	13	13	2	2	12	27	73

発地別周遊ルート(件・%)[周遊エリア3まで]

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					15	20.5 %
中央	→	中央東			6	8.2 %
中央	→	幡多			6	8.2 %
東部	→	中央	→	幡多	4	5.5 %
中央東					4	5.5 %
東部	→	中央			3	4.1 %
東部					3	4.1 %
幡多					3	4.1 %
中央	→	中央東	→	中央	2	2.7 %
中央	→	幡多	→	中央	2	2.7 %
中央	→	東部			2	2.7 %
中央東	→	中央			2	2.7 %
高幡	→	幡多			2	2.7 %
東部	→	中央東	→	中央	2	2.7 %
中央西					2	2.7 %

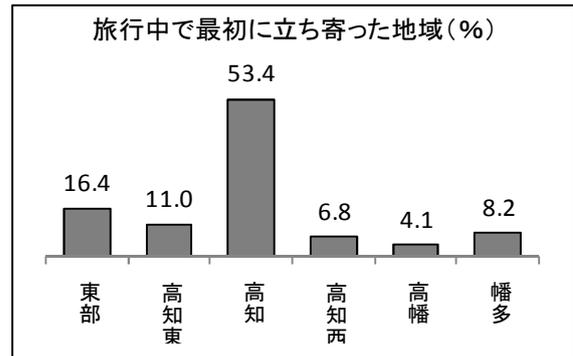
・上位を占めた周遊ルート

その他3ブロックの旅行者を合計した73組の周遊ルートを見ると、「中央」のみを訪問した旅行者が15組(20.5%)と最も多かった。次いで「中央」から「中央東」のルート、および「中央」から「幡多」のルートが同数の6組(8.2%)、「東部」-「中央」-「幡多」のルート、および「中央東」のみが同数の4組(5.5%)などとなっている。

単一エリアだけで観光を終える周遊ルートは、合計で27組とその他全体の37.0%を占めた。その内訳は「中央」15組(20.5%)、「中央東」4組(5.5%)、「東部」と「幡多」が同数の3組(4.1%)、「中央西」2組(2.7%)となっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く39組(53.4%)、次いで「東部」が12組(16.4%)、「中央東」の8組(11.0%)、「幡多」の6組(8.2%)、「中央西」の5組(6.8%)、「高幡」の3組(4.1%)となっている。

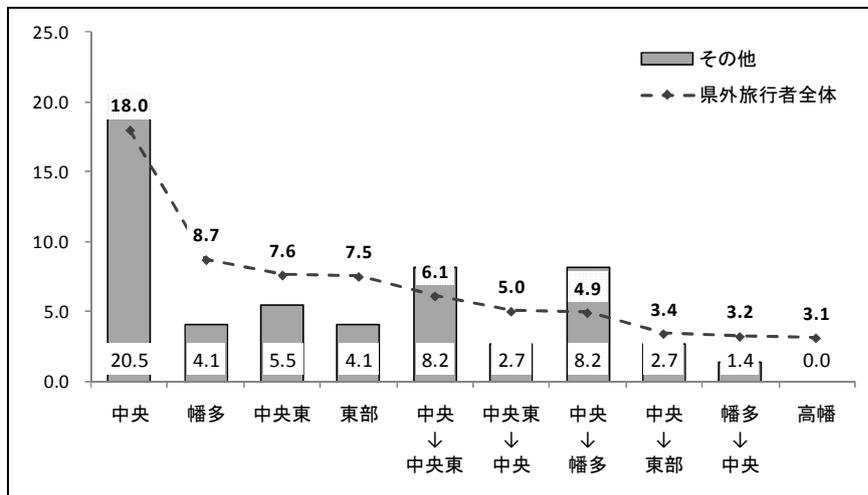


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「中央」から「幡多」、「中央」から「中央東」に向かうルートの割合が多くなっている。反面、それ以外のルートや「中央」エリア以外の単一エリアで観光を終える割合は少なくなっている。

サンプル数が少ないものの、近畿ブロックや甲信・東海ブロックと同様の傾向となっている。

主な周遊ルート割合(%) [県外旅行者全体の上位10位との比較]



3-1-9 高知県

県内旅行者 1,071 組の周遊ルートは以下の通りであった。

発地別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		11	4				252	267
	中央東	9		7	1			200	217
	中央	3	5		3	1		59	71
	中央西			5		1		180	186
	高幡	1	1	3	2		24	167	198
	幡多				1	7		124	132
	計	13	17	19	7	9	24	982	1,071

発地別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
東部					252	23.5 %
中央東					200	18.7 %
中央西					180	16.8 %
高幡					167	15.6 %
幡多					124	11.6 %
中央					59	5.5 %
高幡	→	幡多			23	2.1 %
東部	→	中央東			10	0.9 %
中央東	→	東部			9	0.8 %
中央東	→	中央			7	0.7 %
幡多	→	高幡			7	0.7 %
中央西	→	中央			5	0.5 %
東部	→	中央			4	0.4 %
中央	→	中央東	→	中央	3	0.3 %
高幡	→	中央			3	0.3 %

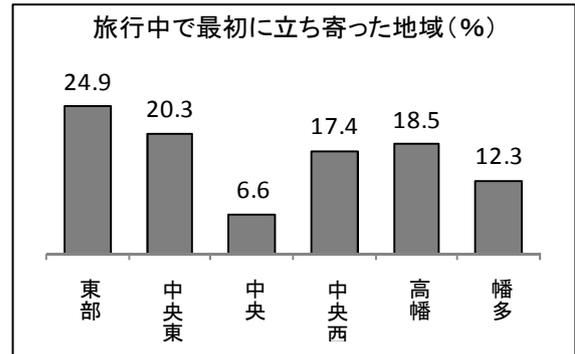
・上位を占めた周遊ルート

県内旅行者 1,071 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみを訪問した旅行者が 252 組 (23.5%) と最も多かった。次いで「中央東」のみが 200 組 (18.7%)、「中央西」のみが 180 組 (16.8%)、「高幡」のみが 167 組 (15.6%)、「幡多」のみが 124 組 (11.6%)、「中央」のみが 59 組 (5.5%) などとなっている。このように、単一エリアだけで観光を終える周遊ルートは、合計で 982 組と県内旅行者全体の 91.7% と大半を占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高幡」から「幡多」の 23 組 (2.1%)、「東部」から「中央東」の 10 組 (0.9%)、「中央東」から「東部」の 9 組 (0.8%) など、少数にとどまっている。

・周遊ルートの玄関口

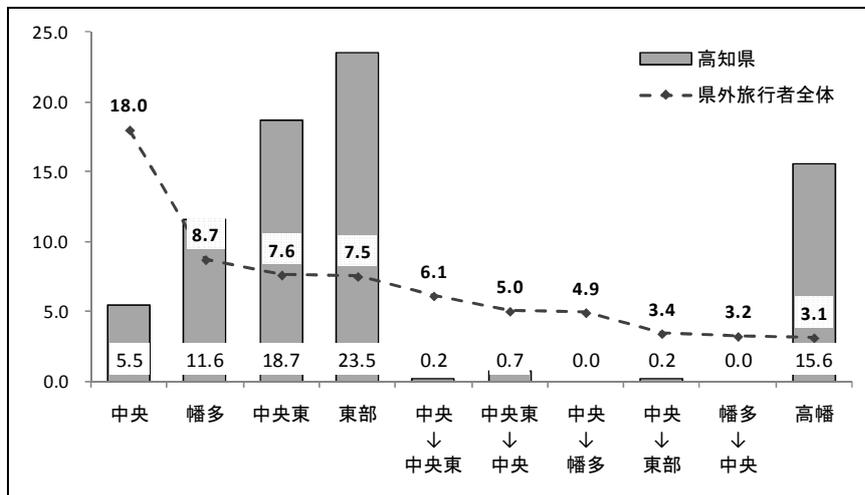
旅行中で最初に立ち寄った地域は、「東部」が最も多く 267 組 (24.9%)、次いで「中央東」の 217 組 (20.3%)、「高幡」の 198 組 (18.5%)、「中央西」の 186 組 (17.4%)、「幡多」の 132 組 (12.3%)、「中央」の 71 組 (6.6%) となっている。



・周遊ルートの傾向

「中央」をのぞいた単一エリアだけで観光を終える割合が多くなっている。さらに、平均立寄数が 1.4 ヶ所ということを踏まえると、調査地となっている観光地以外への立寄りが少なくなっている。

主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体との比較]



3-2 旅行形態別周遊ルート

3-2-1 家族

家族旅行 2,799 組の周遊ルートは以下の通りであった。

旅行形態別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		44	80	2	4	11	283	424
	中央東	35		153	1	11	3	350	553
	中央	86	189		36	43	135	410	899
	中央西	4	5	48		5	3	167	232
	高幡	3	6	34	2		94	182	321
	幡多	8	5	90	2	28		237	370
	計	136	249	405	43	91	246	1629	2799

旅行形態別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					410	14.6 %
中央東					350	12.5 %
東部					283	10.1 %
幡多					237	8.5 %
高幡					182	6.5 %
中央西					167	6.0 %
中央	→	中央東			145	5.2 %
中央東	→	中央			125	4.5 %
中央	→	幡多			111	4.0 %
高幡	→	幡多			78	2.8 %
幡多	→	中央			71	2.5 %
中央	→	東部			69	2.5 %
東部	→	中央			55	2.0 %
中央西	→	中央			44	1.6 %
中央	→	中央西			30	1.1 %
高幡	→	中央			27	1.0 %
中央東	→	東部			26	0.9 %
東部	→	中央東			25	0.9 %
中央	→	中央東	→	中央	24	0.9 %

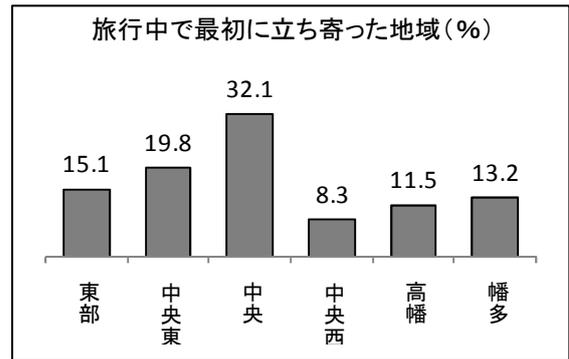
・上位を占めた周遊ルート

家族旅行 2,799 組の周遊ルートを見ると、「中央」のみを訪問した旅行者が 410 組 (14.6%) と最も多かった。次いで「中央東」のみが 350 組 (12.5%)、「東部」のみが 283 組 (10.1%)、「幡多」のみが 237 組 (8.5%)、「高幡」のみが 182 組 (6.5%)、「中央西」のみが 167 組 (6.0%) などとなっている。このように、単一エリアだけで観光を終える周遊ルートで上位を占めており、合計で 1,629 組と家族旅行全体の 58.2% と半数を超えている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「中央」から「中央東」の 145 組 (5.2%)、「中央東」から「中央」の 125 組 (4.5%)、「中央」から「幡多」の 111 組 (4.0%)、「高幡」から「幡多」の 78 組 (2.8%) などとなっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く 889 組 (32.1%)、次いで「中央東」の 553 組 (19.8%)、「東部」の 424 組 (15.1%)、「幡多」の 370 組 (13.2%)、「高幡」の 321 組 (11.5%)、「中央西」の 232 組 (8.3%) となっている。

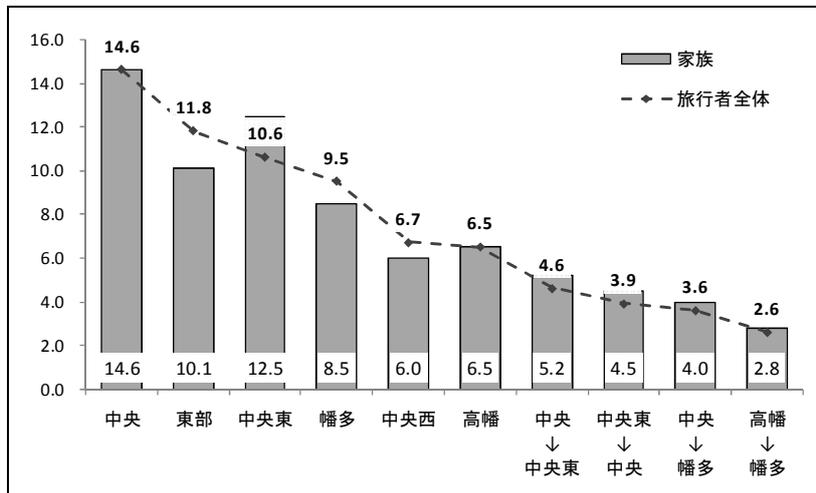


・周遊ルートの傾向

家族旅行が旅行者全体の 70.0% を占めているため、全体と同様の結果となっているものの、「東部」のみや「幡多」のみなどの割合が少なく、「中央東」の割合が多くなるなどの特徴がみられる。

立寄市町村割合でも“高知”が家族旅行の 40.9%、“南国・香美”が 13.8% を占めており、「中央」に次いで「中央東」エリアが家族旅行の人気が高くなっている。

主な周遊ルート割合(%) [旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-2-2 友人・知人

友人・知人との旅行者 682 組の周遊ルートは以下の通りであった。

旅行形態別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		14	25	1	1		103	144
	中央東	12		33	2	1	1	45	94
	中央	24	49		8	9	28	102	220
	中央西			9			1	37	47
	高幡	1	1	6			13	56	77
	幡多	1	1	17		12		69	100
	計	38	65	90	11	23	43	412	682

旅行形態別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
東部					103	15.1 %
中央					102	15.0 %
幡多					69	10.1 %
高幡					56	8.2 %
中央東					45	6.6 %
中央西					37	5.4 %
中央	→	中央東			29	4.3 %
中央東	→	中央			25	3.7 %
中央	→	幡多			22	3.2 %
中央	→	東部			20	2.9 %
東部	→	中央			18	2.6 %
幡多	→	中央			13	1.9 %
中央	→	中央東	→	中央	11	1.6 %
高幡	→	幡多			11	1.6 %
東部	→	中央東			10	1.5 %
中央東	→	東部			10	1.5 %
幡多	→	高幡			9	1.3 %
中央	→	高幡			7	1.0 %
中央西	→	中央			7	1.0 %

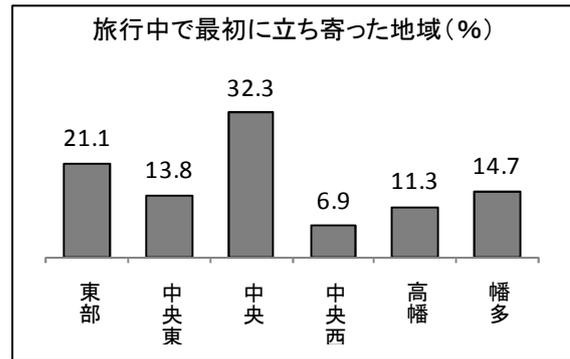
・上位を占めた周遊ルート

友人・知人との旅行者 682 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみを訪問した旅行者が 103 組 (15.1%) と最も多かった。次いで「中央」のみが 102 組 (15.0%)、「幡多」のみが 69 組 (10.1%)、「高幡」のみが 56 組 (8.2%)、「中央東」のみが 45 組 (6.6%)、「中央西」のみが 37 組 (5.4%) などとなっている。家族旅行と同様に、単一エリアだけで観光を終える周遊ルートで上位を占めており、その合計は 412 組と友人・知人との旅行全体の 60.4% と半数を超えている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「中央」から「中央東」の 29 組 (4.3%)、「中央東」から「中央」の 25 組 (3.7%)、「中央」から「幡多」の 22 組 (3.2%)、「中央」から「東部」の 20 組 (2.9%) などとなっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く 220 組 (32.3%)、次いで「東部」の 144 組 (21.1%)、「幡多」の 100 組 (14.7%)、「中央東」の 94 組 (13.8%)、「高幡」の 77 組 (11.3%)、「中央西」の 47 組 (6.9%) となっている。

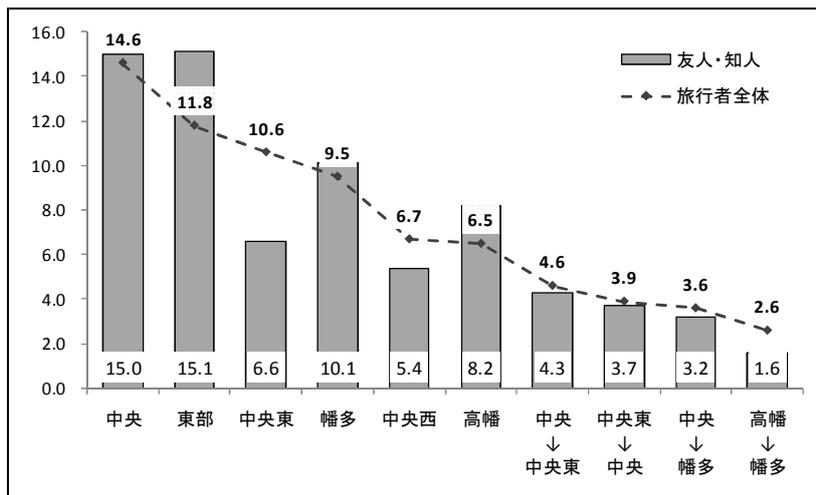


・周遊ルートの傾向

旅行者全体と比べ、「東部」のみの割合が目立って多くなっている。立寄市町村割合で“東洋・室戸”や“奈半利・田野等”の割合が全体平均を上回っていることから、「東部」エリア内の周遊が多いことが推測される。

また、「中央東」はエリア単独で観光を終える割合は少なく、「中央」エリアとの組み合わせで周遊するという傾向が表れている。

主な周遊ルート割合(%) [旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-2-3 団体

団体旅行 29 組の周遊ルートは以下の通りであった。

旅行形態別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部							1	1
	中央東							2	2
	中央		2				1	12	15
	中央西							1	1
	高幡						1	2	3
	幡多			1		1		5	7
	計		2	1		1	2	23	29

旅行形態別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

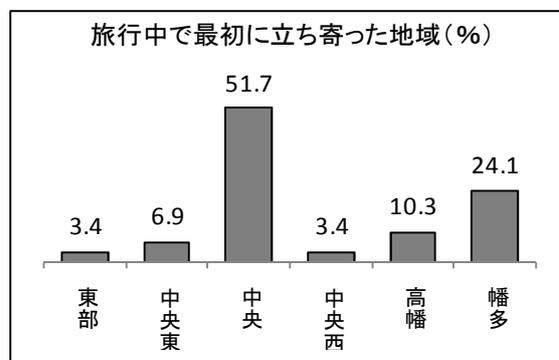
周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					12	41.4 %
幡多					5	17.2 %
中央東					2	6.9 %
中央	→	中央東			2	6.9 %
高幡					2	6.9 %
東部					1	3.4 %
中央	→	幡多			1	3.4 %
中央西					1	3.4 %
高幡	→	幡多			1	3.4 %
幡多	→	中央			1	3.4 %
幡多	→	高幡			1	3.4 %

・上位を占めた周遊ルート

団体旅行 29 組の周遊ルートを見ると、「中央」のみを訪問した団体旅行が 12 組（41.4%）と最も多かった。次いで「幡多」のみが 5 組（17.2%）、「中央東」のみ、「中央」から「中央東」のルート、「高幡」のみが同数の 2 組（6.9%）などと続く。単一エリアだけで観光を終える周遊ルートの合計は 23 組、団体旅行全体の 79.3%となっている。

・周遊ルートの玄関口

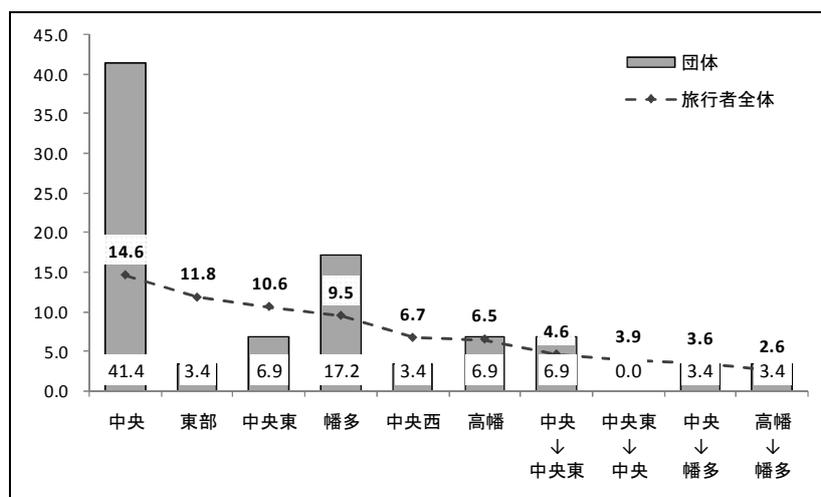
旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く 15 組（51.7%）と半数を超え、次いで「幡多」の 7 組（24.1%）、「高幡」の 3 組（10.3%）、「中央東」の 2 組（6.9%）、「東部」と「中央西」が 1 組（3.4%）となっている。



・周遊ルートの傾向

旅行者全体と比べ、「中央」のみと「幡多」のみの割合が目立って多くなっている。単一エリアだけで高知県観光を終える割合が多いことから、団体旅行では、高知県内では単一エリアのみを目的としていることが多いと言える。

主な周遊ルート割合(%) [旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-2-4 一人

一人旅の旅行者 451 人の周遊ルートは以下の通りであった。

旅行形態別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		10	28		3	5	80	126
	中央東	2		4	1			20	27
	中央	18	10		5	8	14	52	107
	中央西			8			1	60	69
	高幡			5	1		14	19	39
	幡多	3		11		6		63	83
	計	23	20	56	7	17	34	294	451

旅行形態別周遊ルート（件）〔周遊エリア3まで〕

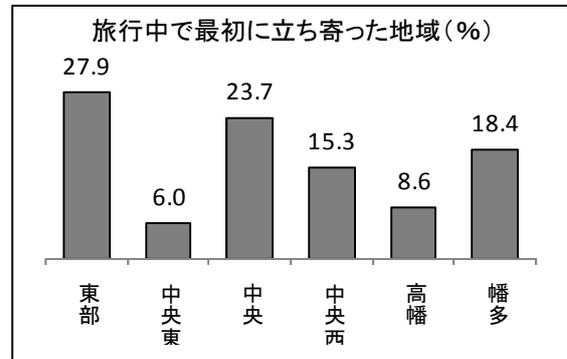
周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
東部					80	17.7 %
幡多					63	14.0 %
中央西					60	13.3 %
中央					52	11.5 %
中央東					20	4.4 %
高幡					19	4.2 %
東部	→	中央	→	幡多	13	2.9 %
中央	→	東部			12	2.7 %
高幡	→	幡多			11	2.4 %
東部	→	中央			10	2.2 %
中央	→	幡多			10	2.2 %
中央西	→	中央			8	1.8 %
幡多	→	中央			7	1.6 %
東部	→	中央東	→	中央	7	1.6 %
東部	→	中央	→	高幡	5	1.1 %
中央	→	東部	→	中央	5	1.1 %
中央	→	中央東			5	1.1 %
東部	→	幡多			5	1.1 %

・上位を占めた周遊ルート

一人旅の旅行者 451 人の周遊ルートを見ると、「東部」のみを訪問した旅行者が 80 人 (17.7%) と最も多かった。次いで「幡多」のみが 63 人 (14.0%)、「中央西」のみが 60 人 (13.3%)、「中央」のみが 52 人 (11.5%)、「中央東」のみが 20 人 (4.4%)、「高幡」のみが 19 人 (4.2%) などとなっている。このように単一エリアだけで観光を終える周遊ルートが上位を占めており、その合計は 294 人、一人旅全体の 65.2%となっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った地域は、「東部」が最も多く 126 人 (27.9%)、次いで「中央」の 107 人 (23.7%)、「幡多」83 人 (18.4%)、「中央西」69 人 (15.3%)、「高幡」39 人 (8.6%)、「中央東」が 27 人 (6.0%) となっている。



・周遊ルートの傾向

旅行者全体と比べ、「東部」、「幡多」、「中央西」の割合が目立って多くなっている。その一方で「中央東」、「中央」、「高幡」は少なく、エリアによって傾向が分かれている。また、全体と一人旅では、広範囲に移動するルートの上位がほとんど合致していない。

エリアを越える周遊ルートでは、「東部」から「中央」さらに「幡多」へ向かうという、県内全域を横断するルートが最も多くなっていることが他に見られない特徴である。

主な周遊ルート割合(%) [旅行者全体の上位 10 位との比較]

